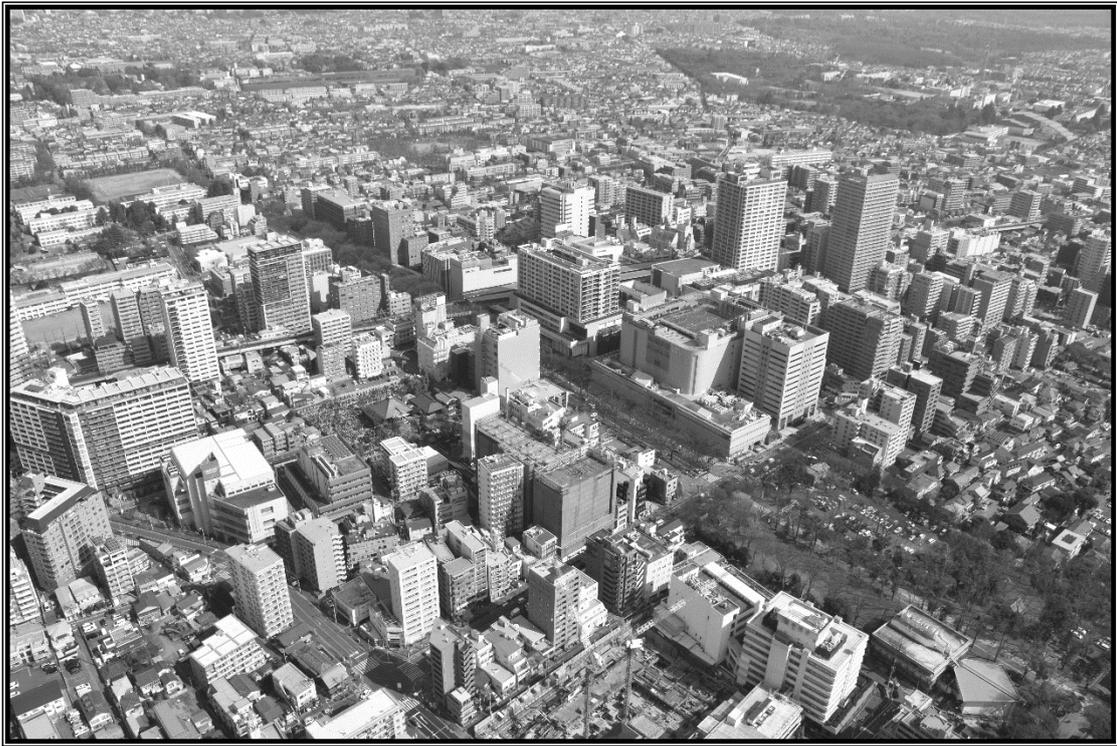


第54回
市政世論調査
(概要版)



令和4年
府中市

< 目 次 >

府中市市政世論調査について	1
回答者の概要	2
【住み心地】について	3
■ 府中市は住みよいところだと感じるか	3
【住まいの環境】について	4
■ 身近な住まいの環境についての感想	4
【生活の満足度】について	5
■ 現在の生活にどの程度満足しているか	5
【定住意向】について	6
■ 今後も府中市に住み続けたいと思うか	6
【市政に関する関心度】について	7
■ 市政にどの程度関心を持っているか	7
【市への要望】について	8
■ 府中市に対しこれから特に力を入れてほしいこと	8
【ホームページの利用】について	10
■ ホームページの閲覧頻度	10
【公共施設跡地の活用】について	10
■ 府中グリーンプラザ敷地活用事業について	10
■ 府中グリーンプラザ敷地活用事業の評価について	11
■ 府中駅北側徒歩3分程度のエリアに必要と考える機能について	11
■ 府中駅北側徒歩10分程度のエリアに必要と考える機能について	12
【地域対応施設】について	13
■ 文化センター、地域体育館の利用状況について	13
【市民協働の推進】について	14
■ 過去1年以内に行った「協働」の取組について	14
■ 多様な主体同士が課題を共有する機会の手段・場所について	15
【多文化共生の推進】について	16
■ 「多文化共生」という言葉を知っているか	16
■ 日常生活の中で自分と異なる国籍の人とのつきあいについて	16
【男女共同参画社会】について	17
■ 家庭における男女のあり方について	17
■ 女性が長く働くうえで、支障をきたしていると思われるものについて	17

【環境問題に対する取組】について	18
■ 環境に関する取組	18
【生物多様性地域戦略】について	19
■ 「生物多様性」の意味を知っているか	19
■ 生物多様性保全活動に参加したいか	19
■ 生物多様性の保全に向けて、行政に期待すること	20
【自転車利用に関すること】について	21
■ 自転車の走行について	21
■ 正しくないと思う自転車の走行	21
【スポーツ・運動】について	22
■ 1年間に行ったスポーツや運動	22
■ 1年間で観戦したことがある府中市を拠点に活動する トップチームについて	23
■ 1年間で行ったスポーツに関するボランティア活動	23
■ 障害者スポーツ（パラスポーツ）について	24
【社会とのつながり】について	25
■ 「ひきこもり」について	25
■ 「ひきこもり」に悩む方への支援	25
【障害者に対する差別・偏見】について	26
■ 「障害者差別解消法」の内容を知っているか	26
■ 府中市障害者差別解消支援地域連絡会議に期待すること	26
【道路の管理】について	27
■ 「コールセンター（府中市道路管理センター）」を 設置していることを知っているか	27
■ 道路の舗装の補修や植栽の剪定などについて	27
■ 市内の道路管理で問題に感じていること	28
【田畑と市街地の共存】について	29
■ 都市農地の保全に関する考え方について	29
■ 市内で生産された野菜等を購入することについて	29
■ 農家レストランの利用について	30

府中市市政世論調査について

府中市で、毎年実施してまいりました世論調査も、今回で第 54 回となります。

この世論調査は、市政に対するご意見・ご要望をお聞きし、諸施策に対する市民の皆様の考えを把握することによって、今後の市政運営上の参考にさせていただくことを目的としております。

今回は市政全般のほか、「ホームページの利用」「公共施設跡地の活用」「地域対応施設」「市民協働の推進」「多文化共生の推進」「男女共同参画社会」「環境問題に対する取組」「生物多様性地域戦略」「自転車利用に関すること」「スポーツ・運動」「社会とのつながり」「障害者に対する差別・偏見」「道路の管理」「田畑と市街地の共存」についてお聞きしました。

本書は、調査結果の一部をまとめた概要版です。

ご協力いただきました市民の皆様に、心からお礼を申し上げます。

調査の方法

調査の地域	: 府中市全域
調査対象者	: 府中市在住の満 18 歳以上の男女
調査数	: 1,500 人
抽出方法	: 地点を用いた二段抽出法 (住民基本台帳の登録人口を 11 の地区に分け、その構成比により無作為に抽出する方法)
調査方法	: 郵送法 (郵送配布、郵送回収)
調査期間	: 令和 4 年 5 月 13 日 (金) ~ 令和 4 年 7 月 4 日 (月)
回収数(率)	: 845 (56.3%)

調査の内容

1. 住み心地	9. 地域対応施設	18. 障害者に対する差別・偏見
2. 住まいの環境	10. 市民協働の推進	19. 道路の管理
3. 生活の満足度	11. 多文化共生の推進	20. 田畑と市街地の共存
4. 定住意向	12. 男女共同参画社会	
5. 市政に関する関心度	13. 環境問題に対する取組	
6. 市への要望	14. 生物多様性地域戦略	
〈第 54 回特設設問〉	15. 自転車利用に関すること	
7. ホームページの利用	16. スポーツ・運動	
8. 公共施設跡地の活用	17. 社会とのつながり	

注意事項 本書をご覧になる場合、次の点に注意してください。

- (1) 百分率(%)の計算は、小数点第 2 位を四捨五入して表示しています。このため、単数回答(1 つだけ選ぶ設問)に表示された百分率を足し合わせても 100%にならない場合があります。また、複数回答(2 つ以上選んでよい設問)の設問の場合、百分率を足し合わせると 100%を超える場合があります。
- (2) 図、表に表示された「n」は、各設問に対する回答者数を表します。

回答者の概要

回答数 845 件の属性別回答者数と構成比を表します。

〔性別〕

	回答者数(人)	構成比(%)
男性	387	45.8
女性	413	48.9
回答しない	8	0.9
(無回答)	37	4.4

〔職業〕

	回答者数(人)	構成比(%)
事務職	117	13.8
専門・技術職	169	20.0
労務・サービス職	65	7.7
役員・管理職	62	7.3
商・工・サービス業	33	3.9
自由業	35	4.1
農林漁業	6	0.7
内職・パート・フリーター	105	12.4
主婦(家事専業)	94	11.1
学生	26	3.1
無職	108	12.8
(無回答)	25	3.0

〔未婚・既婚〕

	回答者数(人)	構成比(%)
未婚	202	23.9
既婚(離別・死別含む)	592	70.1
(無回答)	51	6.0

〔ライフステージ〕

	回答者数(人)	構成比(%)
独身期	108	12.8
家族形成期	70	8.3
家族成長前期	93	11.0
家族成長後期・家族成熟期	125	14.8
高齢期	99	11.7
高齢者世帯	138	16.3
その他	190	22.5
(無回答)	22	2.6

〔年齢〕

	回答者数(人)	構成比(%)
18~29歳	85	10.1
30~39歳	116	13.7
40~49歳	159	18.8
50~59歳	203	24.0
60~69歳	111	13.1
70歳以上	158	18.7
(無回答)	13	1.5

〔地区〕

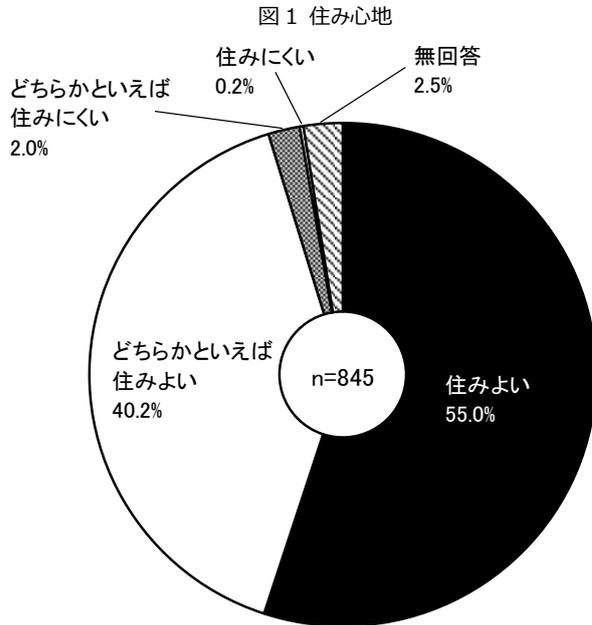
	総人口(人)	対象者数(人)	調査数(人)	回答率(%)	回答者数(人)	構成比(%)
紅葉丘文化センター	22,926	19,143	131	52.7	69	8.2
白糸台文化センター	30,418	25,868	170	57.7	98	11.6
押立文化センター	9,631	8,246	55	50.9	28	3.3
是政文化センター	23,728	20,045	142	61.3	87	10.3
住吉文化センター	26,918	22,606	156	59.0	92	10.9
片町文化センター	29,196	25,124	179	57.0	102	12.1
中央文化センター	43,813	37,091	243	53.5	130	15.4
新町文化センター	25,930	22,211	152	56.6	86	10.2
武蔵台文化センター	14,187	12,218	84	54.8	46	5.4
西府文化センター	19,024	15,741	107	50.5	54	6.4
四谷文化センター	14,373	11,697	81	65.4	53	6.3
総計	260,144	219,990	1,500	56.3	845	100.1

上記対象者は、令和4年4月1日現在の満18歳以上の人口である。

【住み心地】について

■ 府中市は住みよいところだと感じるか (n=845)

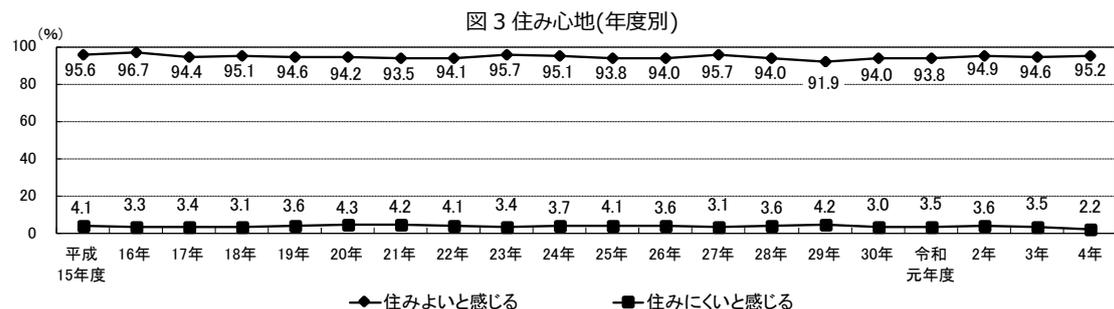
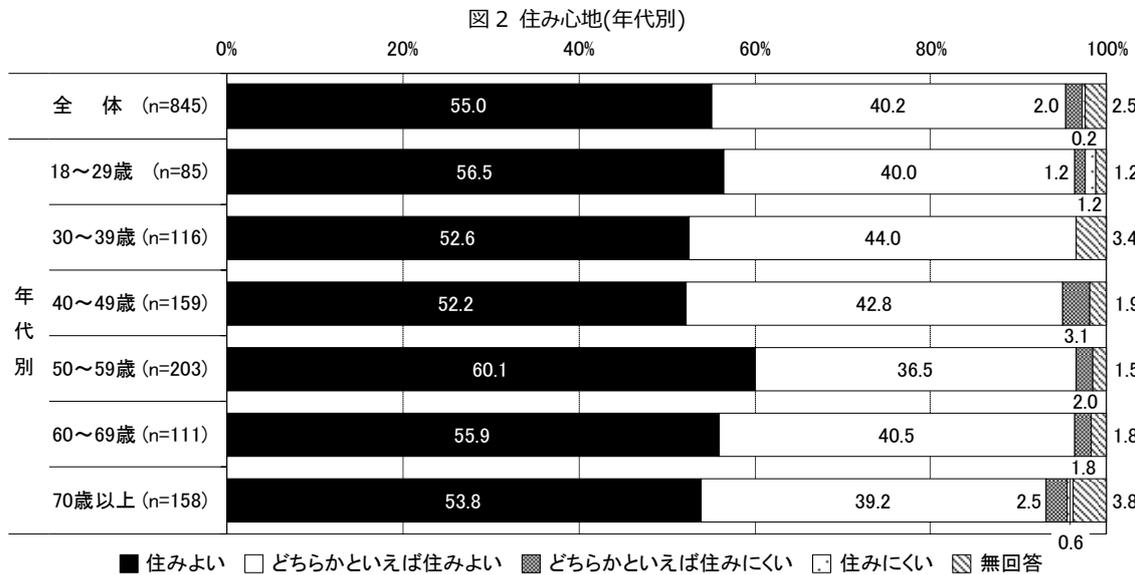
「住みよい」と「どちらかといえば住みよい」を合わせると、9割半ばが『府中市は住みよい』と感じている。



「住みよい」(55.0%)と「どちらかといえば住みよい」(40.2%)を合わせた『住みよいと感じる』割合は、9割(95.2%)にのぼる。

また、「住みにくい」(0.2%)と「どちらかといえば住みにくい」(2.0%)を合わせた『住みにくいとを感じる』割合は、1割以下である。

「住みよい」と「どちらかといえば住みよい」を合わせた『住みよいと感じる』割合は、年代別では、「30～39歳」、「50～59歳」(96.6%)が最も高く、「70歳以上」(93.0%)が最も低い。



【住まいの環境】について

■身近な住まいの環境についての感想 (n=845)

「非常によい」と「まあよい」を合わせた『よいと感じる住まいの環境』は、「緑の豊かさ」、「日常の買い物の便」、「風通し、日当たり」の順になっている。「あまりよくない」と「非常に悪い」を合わせた『よくないと感じる住まいの環境』は、「蚊やハエの発生の防止」、「騒音や振動の防止」、「交通安全対策」の順になっている。

図4 身近な住まいの環境についての感想

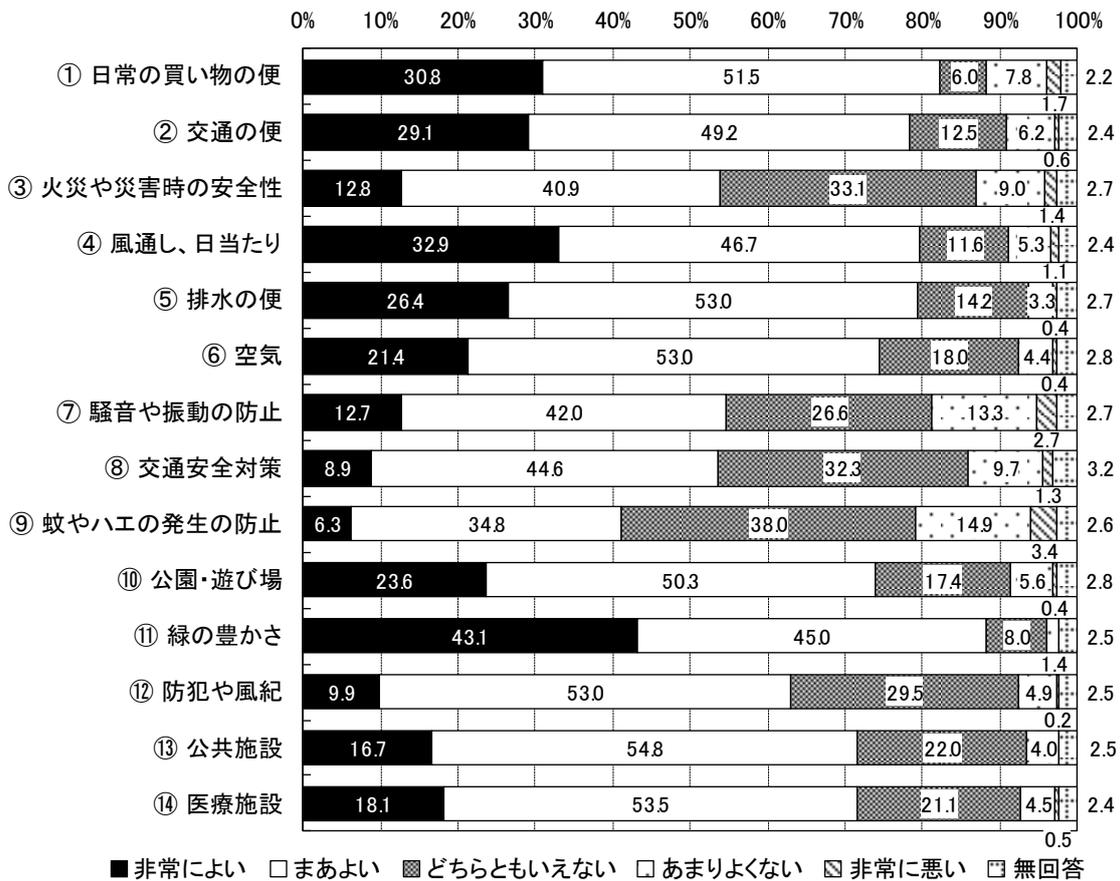


表1 『よい』と感じる割合の順 (%)

順位	住まいの環境	非常によい または まあよい
1位	⑪ 緑の豊かさ	88.1
2位	① 日常の買い物の便	82.3
3位	④ 風通し、日当たり	79.6
4位	⑤ 排水の便	79.4
5位	② 交通の便	78.3
6位	⑥ 空気	74.4
7位	⑩ 公園・遊び場	73.9
8位	⑭ 医療施設	71.6
9位	⑬ 公共施設	71.5
10位	⑫ 防犯や風紀	62.9
11位	⑦ 騒音や振動の防止	54.7
12位	③ 火災や災害時の安全性	53.7
13位	⑧ 交通安全対策	53.5
14位	⑨ 蚊やハエの発生の防止	41.1

表2 『よくない』と感じる割合の順 (%)

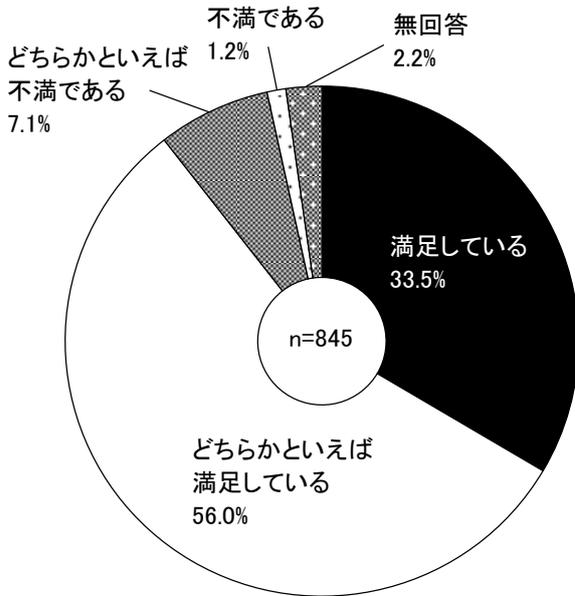
順位	住まいの環境	あまりよくない または 非常に悪い
1位	⑨ 蚊やハエの発生の防止	18.3
2位	⑦ 騒音や振動の防止	16.0
3位	⑧ 交通安全対策	11.0
4位	③ 火災や災害時の安全性	10.4
4位	① 日常の買い物の便	9.5
6位	② 交通の便	6.8
7位	④ 風通し、日当たり	6.4
8位	⑩ 公園・遊び場	6.0
9位	⑫ 防犯や風紀	5.1
10位	⑭ 医療施設	5.0
11位	⑥ 空気	4.8
12位	⑬ 公共施設	4.0
13位	⑤ 排水の便	3.7
14位	⑪ 緑の豊かさ	1.4

【生活の満足度】について

■ 現在の生活にどの程度満足しているか (n=845)

「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせると、約9割が『生活に満足している』と感じている。

図5 生活の満足度

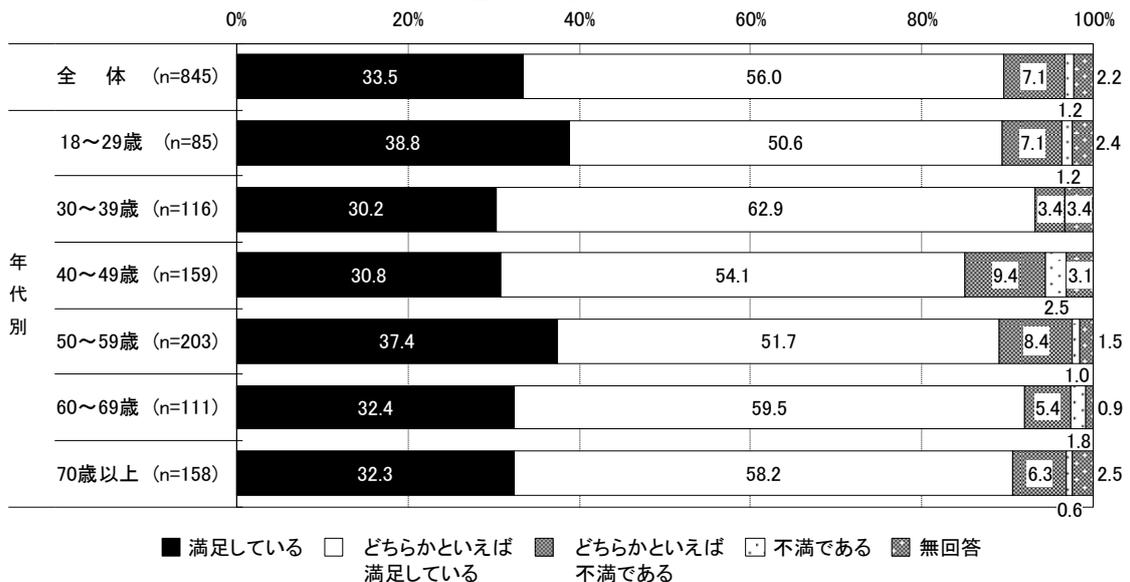


「満足している」(33.5%)と「どちらかといえば満足している」(56.0%)を合わせた『満足と感じている』割合は、9割近くを占める(89.5%)。

また、「不満である」(1.2%)と「どちらかといえば不満である」(7.1%)を合わせた『不満と感じている』割合は、1割に満たない(8.3%)。

年代別では、「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせた『生活に満足していると感じる』割合は、「30～39歳」(93.1%)が最も高く、「40～49歳」(84.9%)が最も低い。

図6 生活の満足度 (年代別)

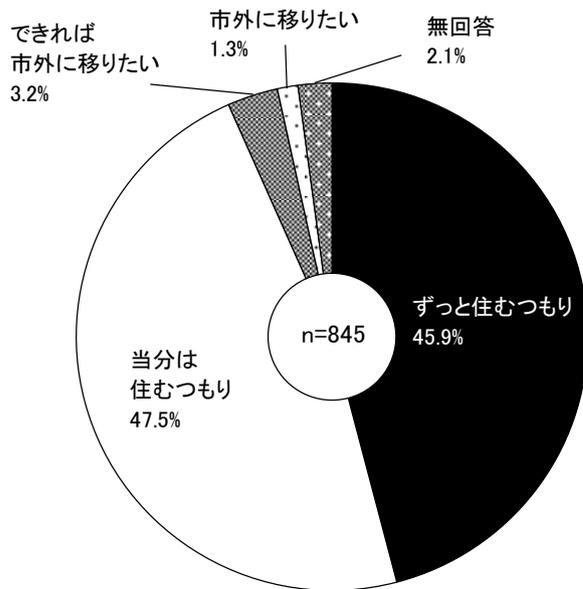


【定住意向】について

■ 今後も府中市に住み続けたいと思うか (n=845)

「ずっと住むつもり」と「当分は住むつもり」を合わせると、9割以上が『今後も府中市に住み続けたい』と感じている。

図7 定住意向

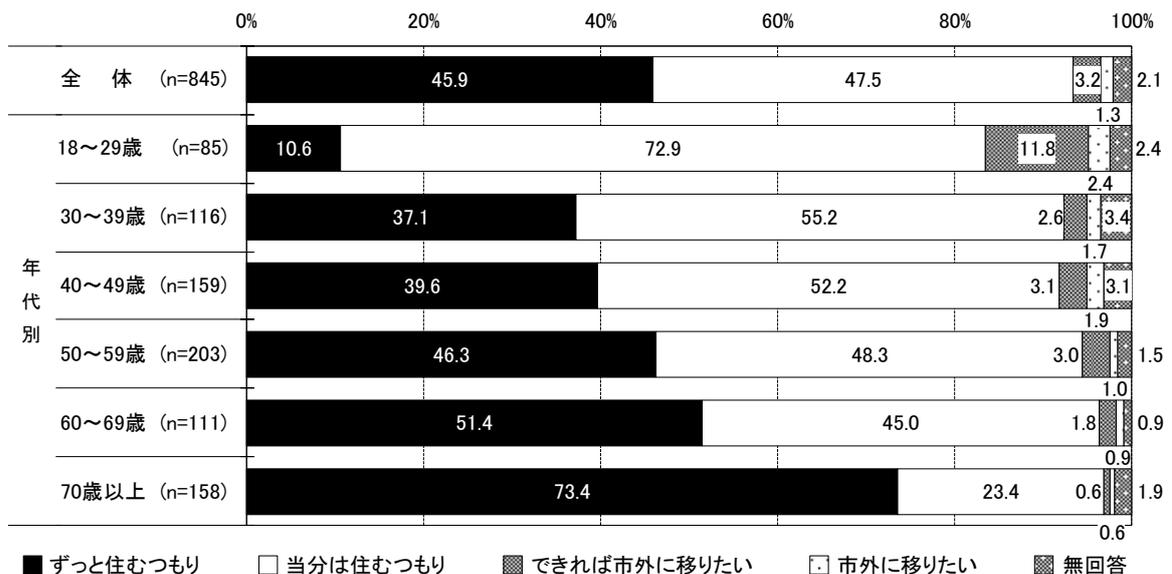


「ずっと住むつもり」(45.9%)と「当分は住むつもり」(47.5%)を合わせた『住み続けたい』と感じている割合は、9割を占める(93.4%)。

また、「できれば市外に移りたい」(3.2%)と「市外に移りたい」(1.3%)を合わせた『市外に移りたい』と感じている割合は、1割に満たない。

年代別では、「ずっと住むつもり」と「当分は住むつもり」を合わせた『住み続けたい』と感じている割合は、「70歳以上」(96.8%)が最も高く、「18～29歳」(83.5%)が最も低い。

図8 定住意向 (年代別)

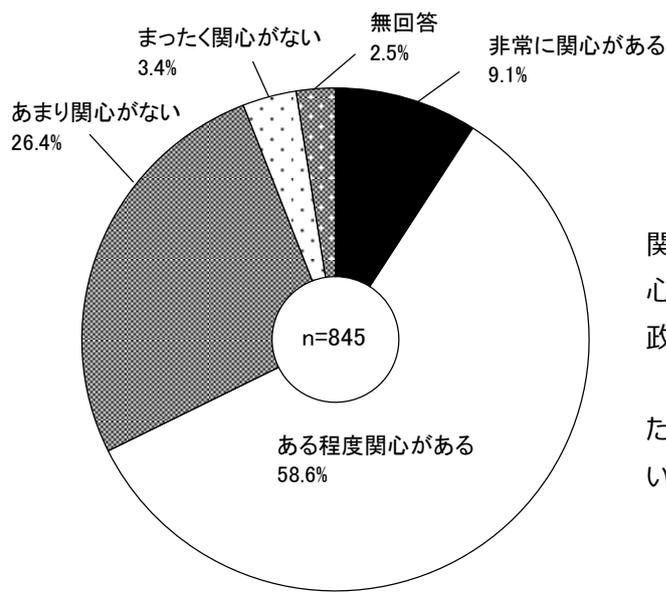


【市政に関する関心度】について

■ 市政にどの程度関心を持っているか (n=845)

「非常に関心がある」と「ある程度関心がある」を合わせると、7割近くが市政に関心を持っている。

図9 市政に関する関心度

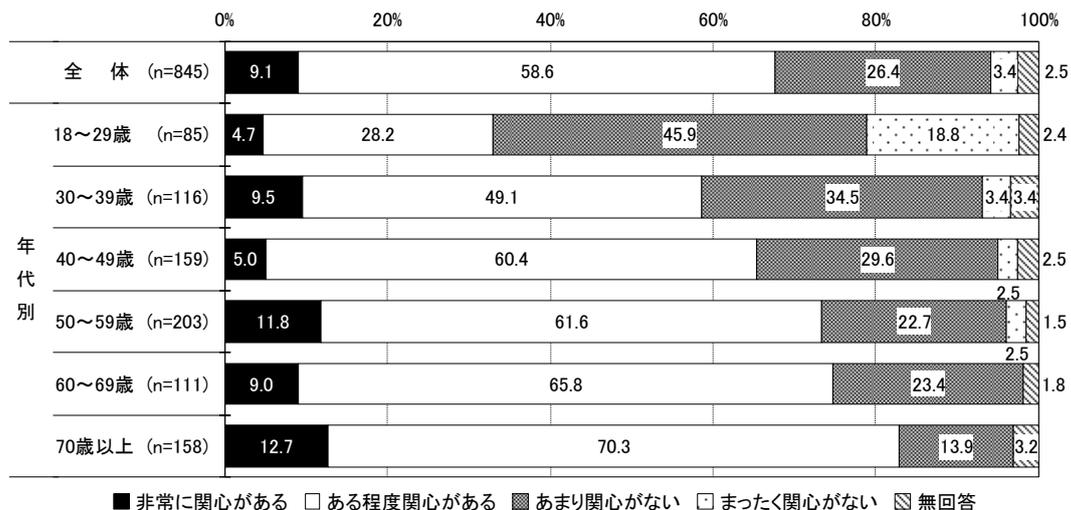


「非常に関心がある」(9.1%)と「ある程度関心がある」(58.6%)を合わせた『市政に関心がある』割合は 67.7%で、7割近くが市政に関心を持っている。

一方、『市政に関心がない』割合は、「まったく関心がない」(3.4%)と「あまり関心がない」(26.4%)を合わせた 29.8%である。

年代別では、「非常に関心がある」と「ある程度関心がある」を合わせた『市政に関心がある』割合は、「70歳以上」(83.0%)が最も高く、「18～29歳」(32.9%)が最も低い。

図10 市政に関する関心度(年代別)

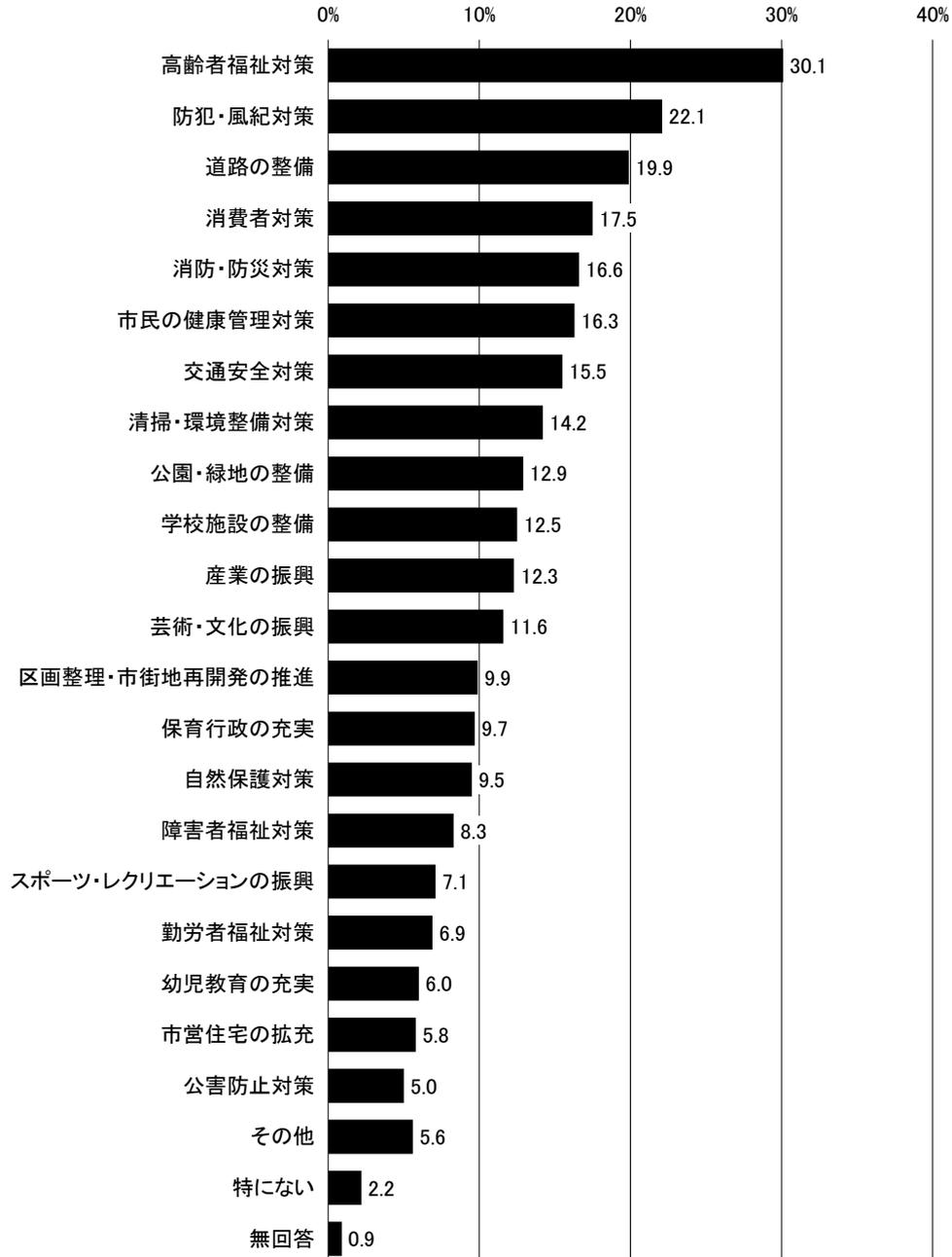


【市への要望】について

■ 府中市に対しこれから特に力を入れてほしいこと (n=845 : 複数回答)

「高齢者福祉対策」(30.1%)、「防犯・風紀対策」(22.1%)、「道路の整備」(19.9%)、「消費者対策」(17.5%)の順で高い。

図 11 市への要望

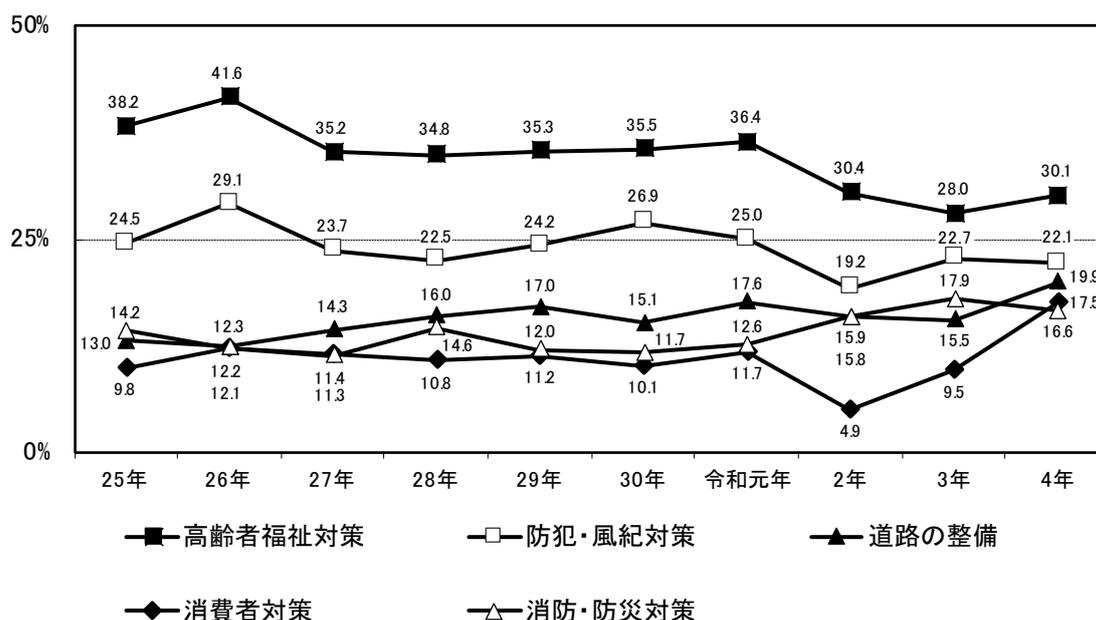


上位5項目について平成25年度からの順位変動を見ると、今年度1位の「高齢者福祉対策」は常に1位となっている。今年度2位の「防犯・風紀対策」は毎年2位になっており、今年度3位の「道路の整備」は平成28年から毎年上位5位に入っている。今年度4位の「消費者対策」は過去10年で初めて上位5位になり、今年度5位の「消防・防災対策」は、昨年度4位となっていた。

表3 経年推移(上位5位)

	n	1位	2位	3位	4位	5位
令和4年	845	高齢者福祉対策 30.1%	防犯・風紀対策 22.1%	道路の整備 19.9%	消費者対策 17.5%	消防・防災対策 16.6%
3年	845	高齢者福祉対策 28.0%	防犯・風紀対策 22.7%	市民の健康管理対策 18.0%	消防・防災対策 17.9%	道路の整備 15.5%
2年	900	高齢者福祉対策 30.4%	防犯・風紀対策 19.2%	市民の健康管理対策 18.0%	道路の整備 15.9%	消防・防災対策 15.8%
元年	992	高齢者福祉対策 36.4%	防犯・風紀対策 25.0%	道路の整備 17.6%	交通安全対策 17.1%	市民の健康管理対策 16.3%
平成30年	1021	高齢者福祉対策 35.5%	防犯・風紀対策 26.9%	市民の健康管理対策 17.8%	学校施設の整備 15.3%	道路の整備/ 清掃・環境整備対策 15.1%
29年	1103	高齢者福祉対策 35.3%	防犯・風紀対策 24.2%	市民の健康管理対策 17.4%	道路の整備 17.0%	保育行政の充実 15.4%
28年	996	高齢者福祉対策 34.8%	防犯・風紀対策 22.5%	市民の健康管理対策 19.7%	保育行政の充実 18.6%	道路の整備 16.0%
27年	824	高齢者福祉対策 35.2%	防犯・風紀対策 23.7%	市民の健康管理対策 18.4%	清掃・環境整備対策 15.7%	道路の整備/ 保育行政の充実 14.3%
26年	844	高齢者福祉対策 41.6%	防犯・風紀対策 29.1%	市民の健康管理対策 18.5%	清掃・環境整備対策 16.1%	保育行政の充実 14.3%
25年	836	高齢者福祉対策 38.2%	防犯・風紀対策 24.5%	清掃・環境整備対策 18.7%	市民の健康管理対策 17.5%	消防・防災対策 14.2%

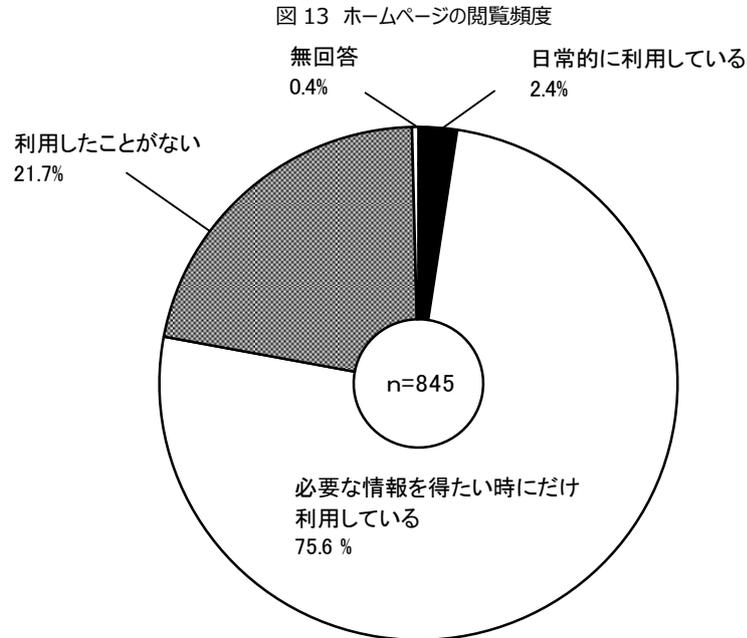
図12 経年推移(上位5位)



【ホームページの利用】について

■ ホームページの閲覧頻度 (n=845)

「ホームページの閲覧頻度」の内容について、「必要な情報を得たい時にだけ利用している」(75.6%)が7割半ばを占め、「利用したことがない」(21.7%)は2割程度を占めている。

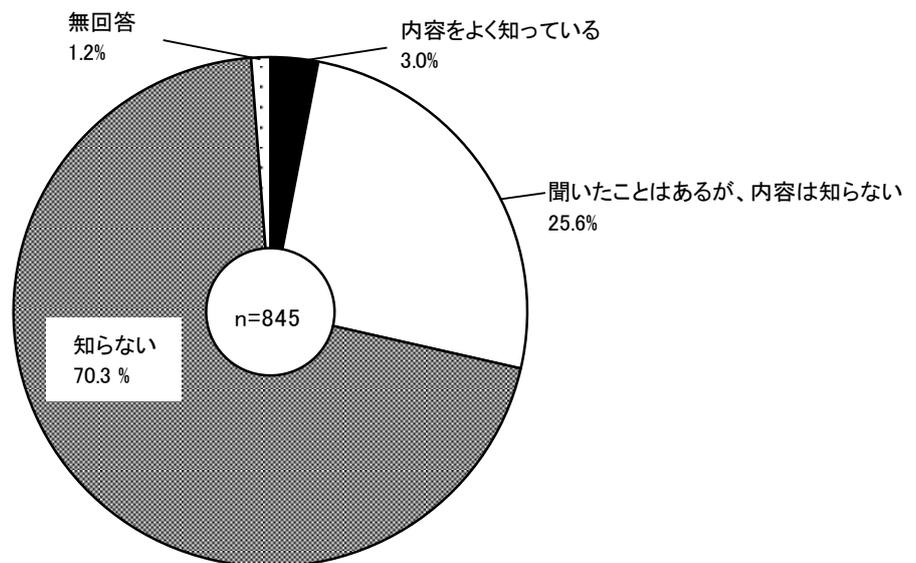


【公共施設跡地の活用】について

■ 府中グリーンプラザ敷地活用事業について (n=845)

府中グリーンプラザ敷地活用事業について、「知らない」(70.3%)が7割を占め、「聞いたことはあるが、内容は知らない」(25.6%)は2割半ばを占めている。

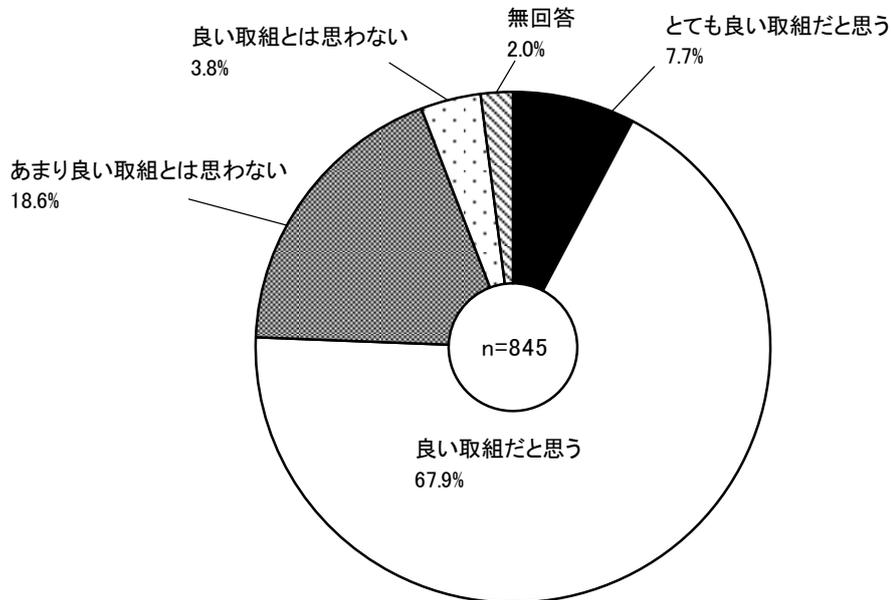
図 14 府中グリーンプラザ敷地活用事業について



■ 府中グリーンプラザ敷地活用事業の評価について (n=845)

府中グリーンプラザ敷地活用事業の評価について、「良い取組だと思う」(67.9%)が最も高く、7割近くを占めている。続いて、「あまり良い取組とは思わない」(18.6%)、「とても良い取組だと思う」(7.7%)となっている。

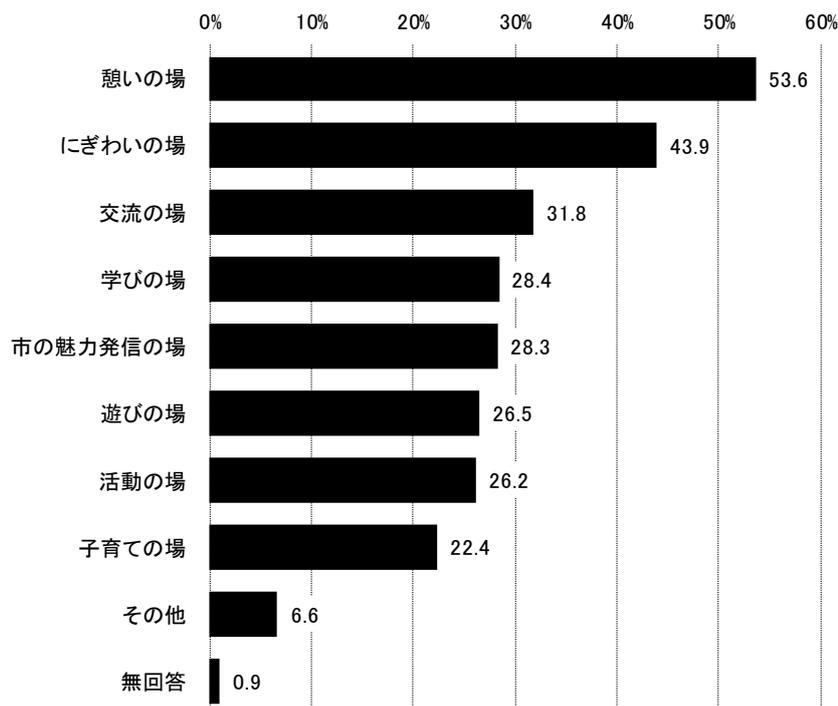
図 15 府中グリーンプラザ敷地活用事業の評価について



■ 府中駅北側徒歩3分程度のエリアに必要と考える機能について (n=845)

府中駅北側徒歩3分程度のエリアに必要と考える機能について、「憩いの場」(53.6%)が最も高く5割を占める。続いて、「にぎわいの場」(43.9%)、「交流の場」(31.8%)、「学びの場」(28.4%)、「市の魅力発信の場」(28.3%)の順になっている。

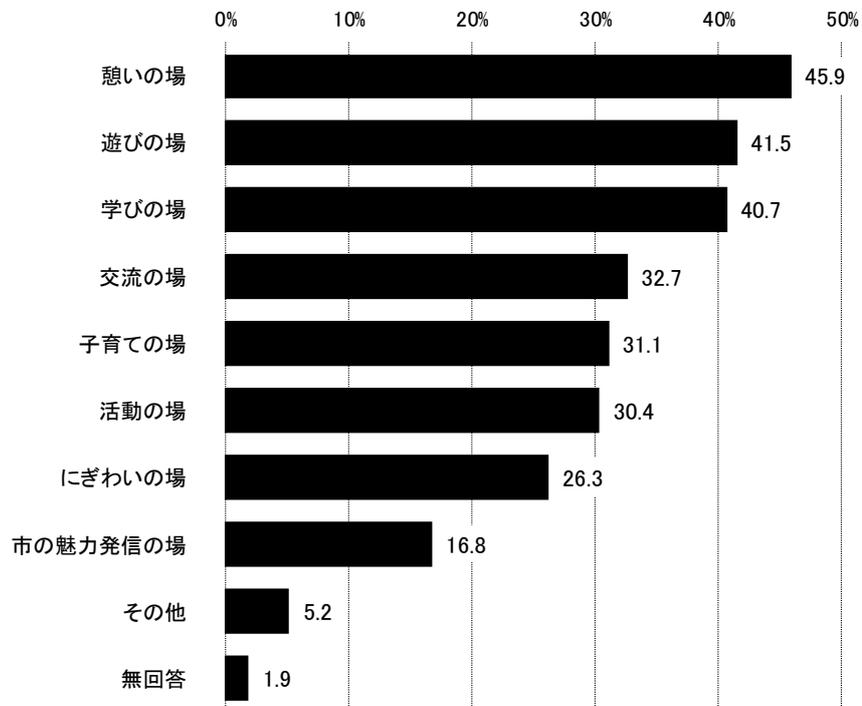
図 16 府中駅北側徒歩3分程度のエリアに必要と考える機能について



■ 府中駅北側徒歩 10 分程度のエリアに必要と考える機能について (n=845)

府中市北側徒歩 10 分程度のエリアに必要と考える機能について、「憩いの場」(45.9%) が最も高く、続いて「遊びの場」(41.5%)、「学びの場」(40.7%)、「交流の場」(32.7%)、「子育ての場」(31.1%)の順になっている。

図 17 府中駅北側徒歩 10 分程度のエリアに必要と考える機能について

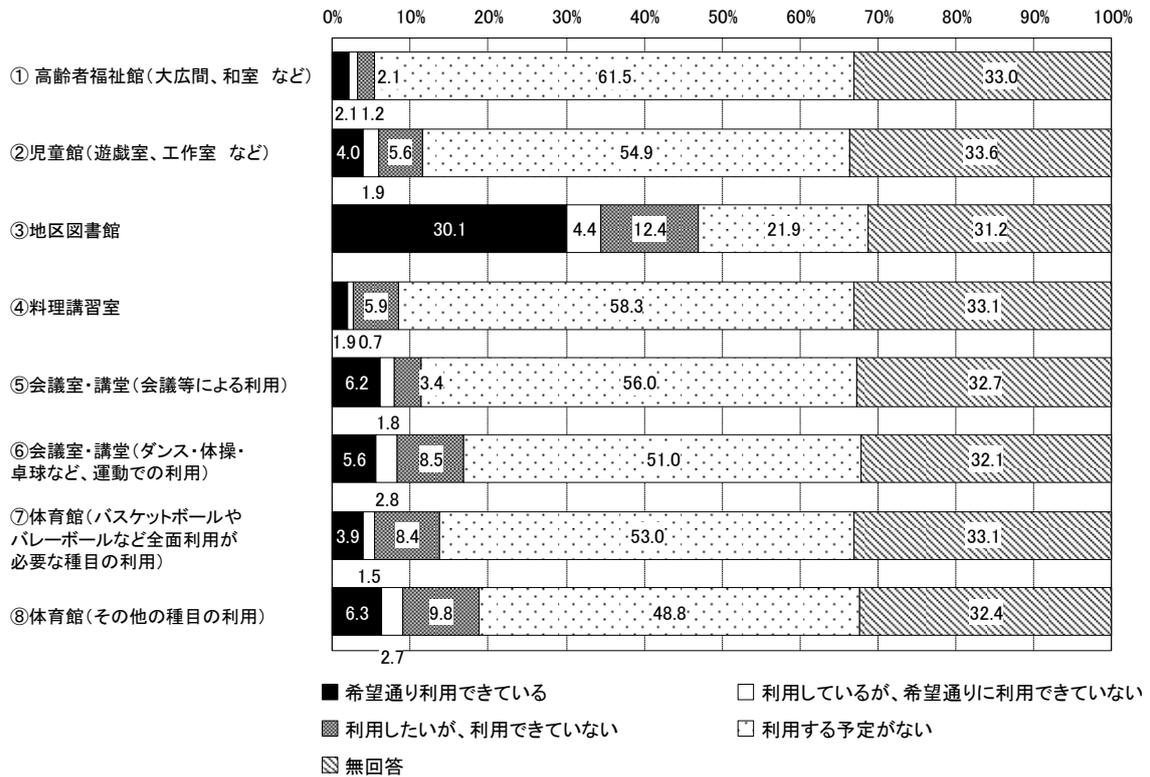


【地域対応施設】について

■文化センター、地域体育館の利用状況について（n=845）

文化センター、地域体育館の利用状況について、『希望通り利用できている』の割合は、「地区図書館」（30.1%）が最も高く、3割を超えている。逆に、最も低いのは「料理講習室」（1.9%）となっている。

図 18 文化センター、地域体育館の利用状況について

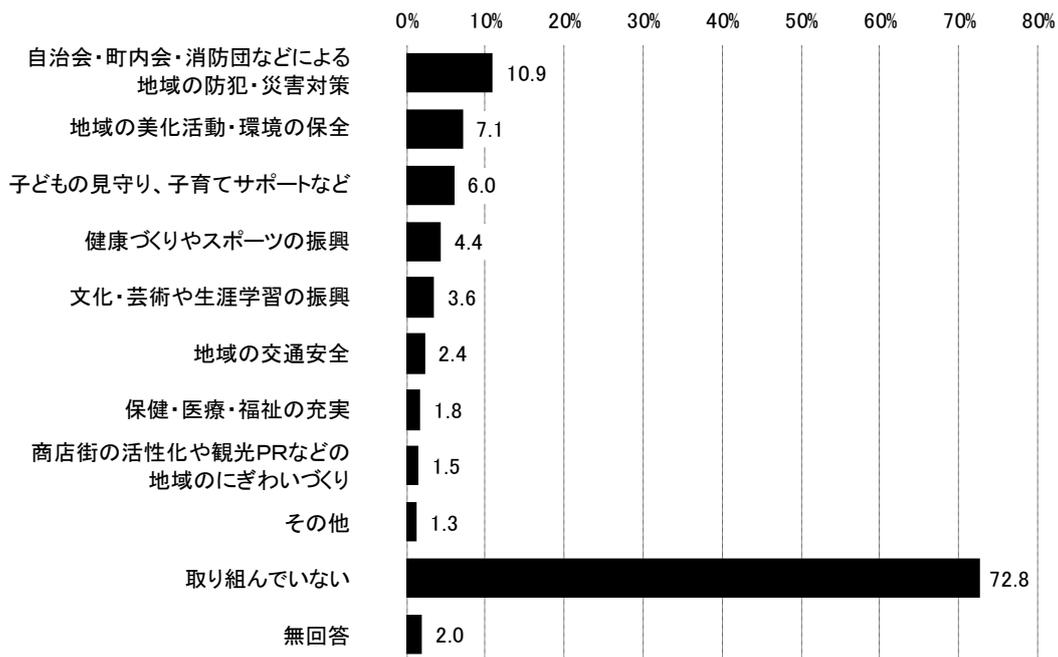


【市民協働の推進】について

■ 過去1年以内に行った「協働」の取組について（n=845）

過去1年以内に行った「協働」の取組について、「取り組んでいない」と「無回答」を除いた『取り組んだ経験』は「自治会・町内会・消防団などによる地域の防犯・災害対策」（10.9%）が最も高い。続いて、「地域の美化活動・環境の保全」（7.1%）、「子どもの見守り、子育てサポートなど」（6.0%）、「健康づくりやスポーツの振興」（4.4%）の順となっている。

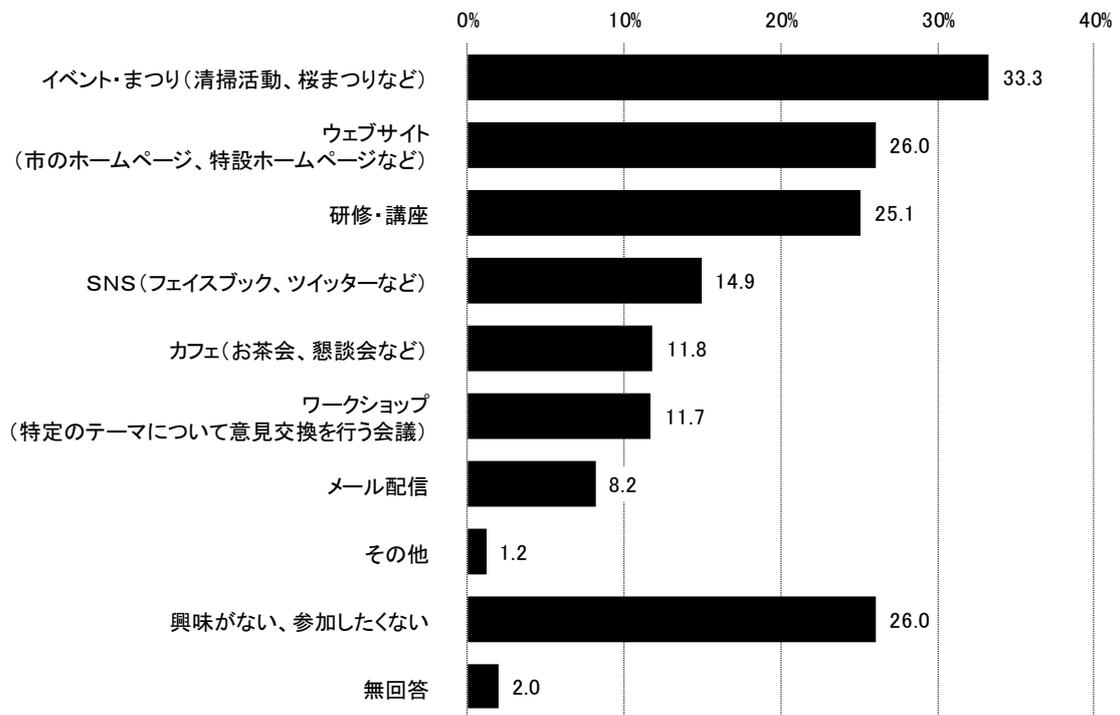
図 19 過去1年以内に行った「協働」の取組について



■ 多様な主体同士が課題を共有する機会の手段・場所について (n=845)

多様な主体同士が課題を共有する機会の手段・場所について、「イベント・まつり（清掃活動、桜まつりなど）」（33.3%）が最も高く、3割半ばを占める。続いて、「ウェブサイト（市のホームページ、特設ホームページなど）」（26.0%）、「研修・講座」（25.1%）の順になっている。

図 20 多様な主体同士が課題を共有する機会の手段・場所について

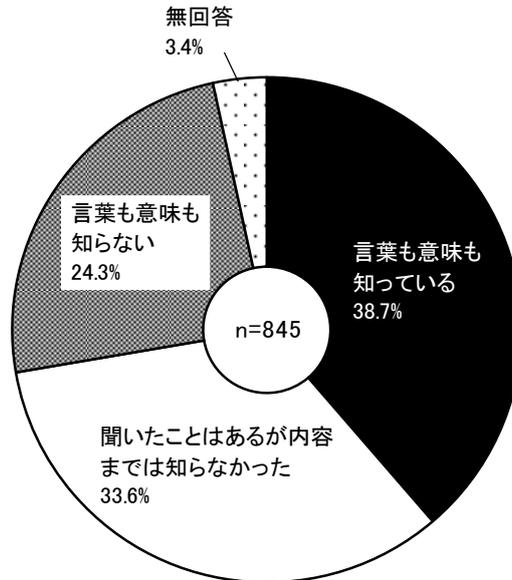


【多文化共生の推進】について

■「多文化共生」という言葉を知っているか（n=845）

「言葉も意味も知っている」（38.7%）が最も高く、続いて、「聞いたことはあるが内容までは知らなかった」（33.6%）、「言葉も意味も知らない」（24.3%）の順になっている。

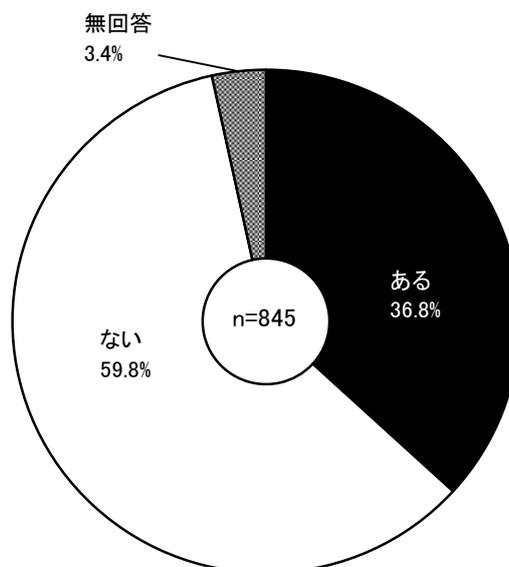
図 21 「多文化共生」という言葉を知っているか



■日常生活の中で自分と異なる国籍の人とのつきあいについて（n=845）

「日常生活の中で自分と異なる国籍の人とのつきあい」について、「ない」（59.8%）が最も高く、6割近くを占める。続いて、「ある」（36.8%）となっている。

図 22 日常生活の中で自分と異なる国籍の人とのつきあいについて

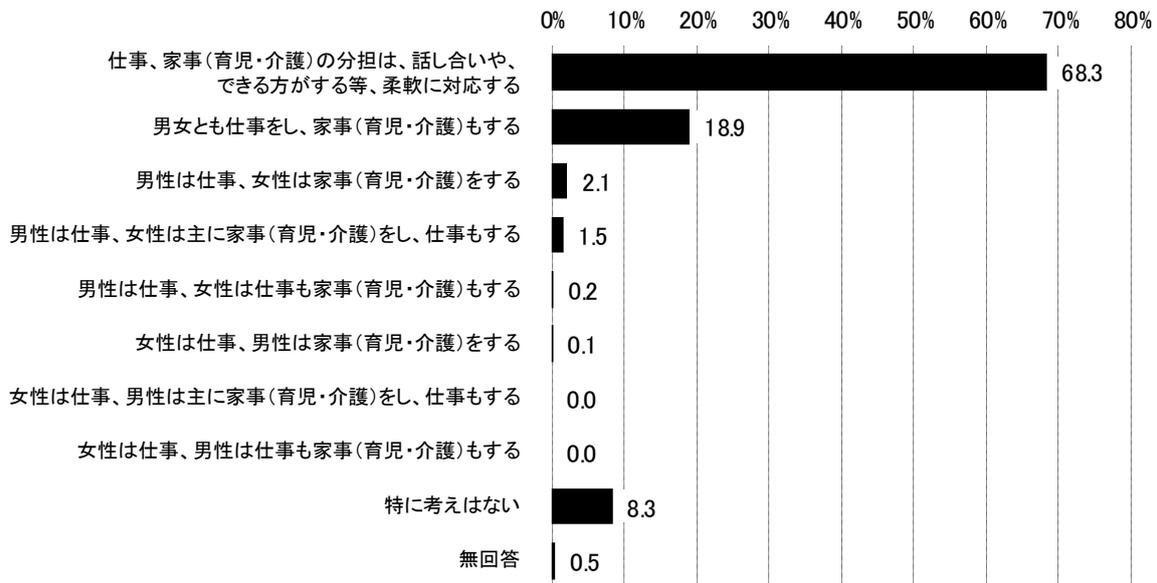


【男女共同参画社会】について

■ 家庭における男女のあり方について (n=845)

家庭における男女のあり方について、「仕事、家事（育児・介護）の分担は、話し合いや、できる方がする等、柔軟に対応する」（68.3%）が最も高く、7割近くを占める。

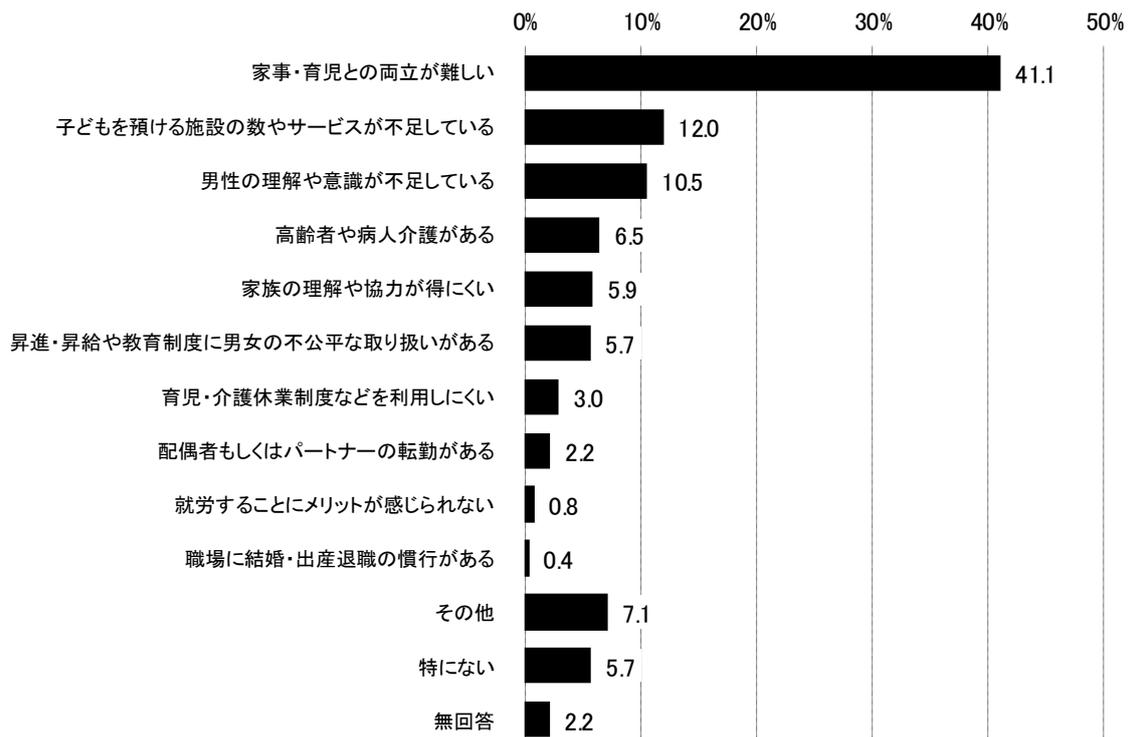
図 23 家庭における男女のあり方について



■ 女性が長く働くうえで、支障をきたしていると思われるものについて (n=845)

「家事・育児との両立が難しい」（41.1%）が最も高く、4割を超える。続いて、「子どもを預ける施設の数やサービスが不足している」（12.0%）、「男性の理解や意識が不足している」（10.5%）の順に高い。

図 24 女性が長く働くうえで、支障をきたしていると思われるものについて



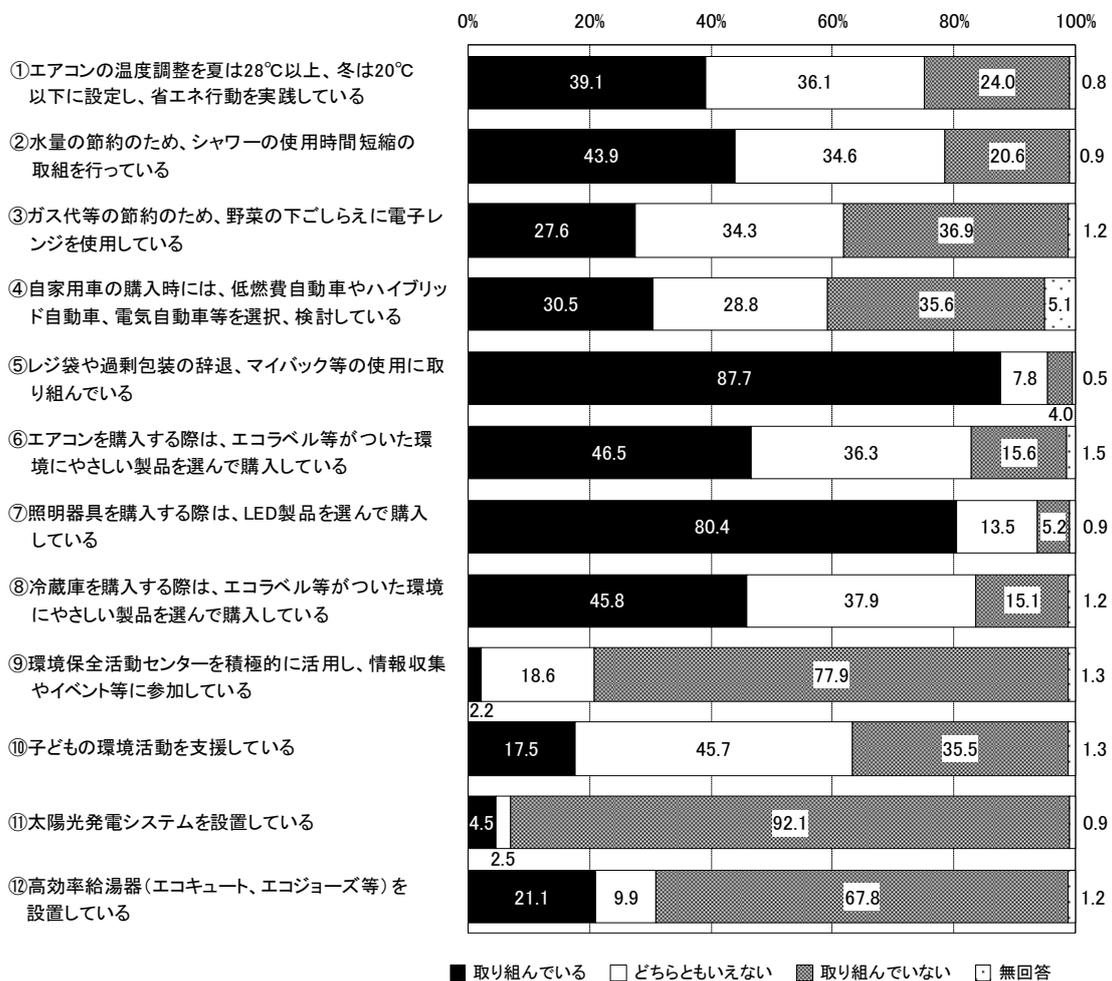
【環境問題に対する取組】について

■ 環境に関する取組（n=845：複数回答）

環境に関する取組について、「取り組んでいる」は、「レジ袋や過剰包装の辞退、マイバッグ等の使用に取り組んでいる」（87.7%）、「照明器具を購入する際は、LED製品を選んで購入している」（80.4%）、「エアコンを購入する際は、エコラベル等がついた環境にやさしい製品を選んで購入している」（46.5%）の順で高い。

「取り組んでいない」は、「太陽光発電システムを設置している」（92.1%）、「環境保全活動センターを積極的に活用し、情報収集やイベント等に参加している」（77.9%）、「高効率給湯器（エコキュート、エコジョーズ等）を設置している」（67.8%）の順で高い。

図 25 環境に関する取組

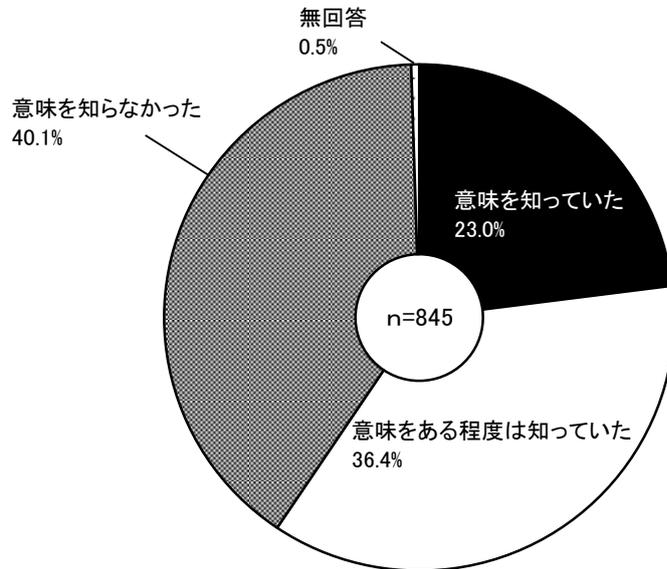


【生物多様性地域戦略】について

■「生物多様性」の意味を知っているか（n=845）

「生物多様性」の意味を知っているかについては、「意味を知らなかった」（40.1%）が4割を超え、最も高い。続いて、「意味をある程度は知っていた」（36.4%）、「意味を知っていた」（23.0%）の順になっている。

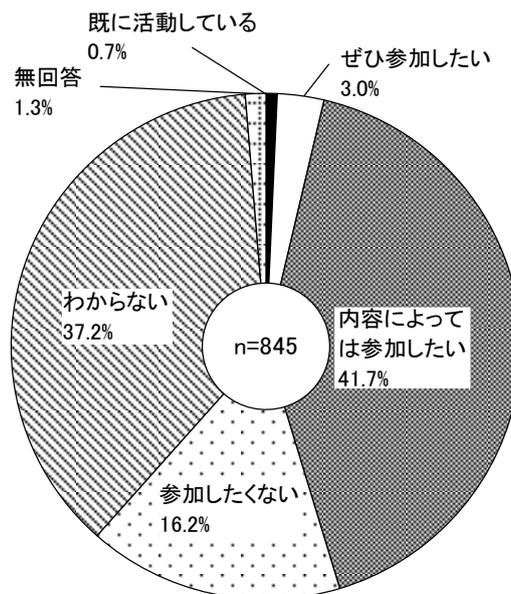
図 26 「生物多様性」の意味を知っているか



■生物多様性保全活動に参加したいか（n=845）

保全活動への参加については、「内容によっては参加したい」（41.7%）が最も高く、続いて、「わからない」（37.2%）、「参加したくない」（16.2%）の順になっている。

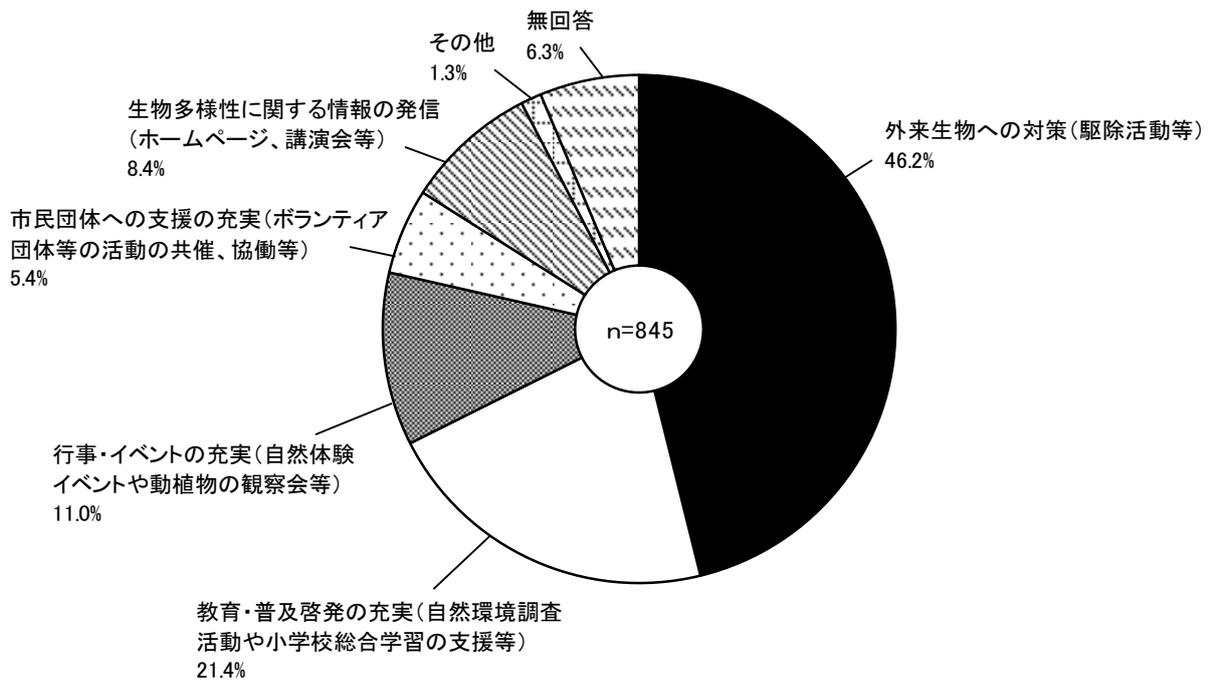
図 27 生物多様性保全活動に参加したいか



■ 生物多様性の保全に向けて、行政に期待すること (n=845)

生物多様性の保全に向けて、行政に期待することとして、「外来生物への対策（駆除活動等）」（46.2%）が最も高く、続いて、「教育・普及啓発の充実（自然環境調査活動や小学校総合学習の支援等）」（21.4%）、「行事・イベントの充実（自然体験イベントや動植物の観察会等）」（11.0%）の順になっている。

図 28 生物多様性の保全に向けて、行政に期待すること

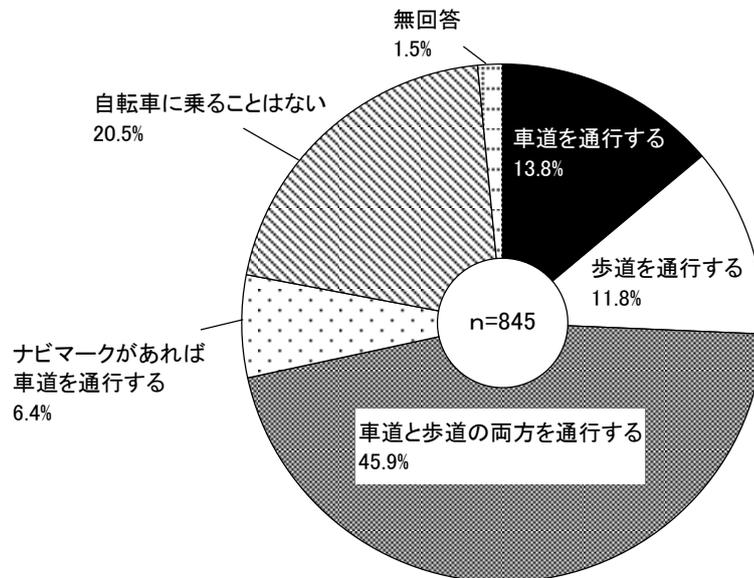


【自転車利用に関すること】について

■ 自転車の走行について (n=845)

「車道と歩道の区別のある道路で自転車を運転する場合、どの部分を主に走行しているか」について、「車道と歩道の両方を通行する」(45.9%)が4割半ばを占める。続いて、「自転車に乗ることはない」(20.5%)、「車道を通行する」(13.8%)と続いている。

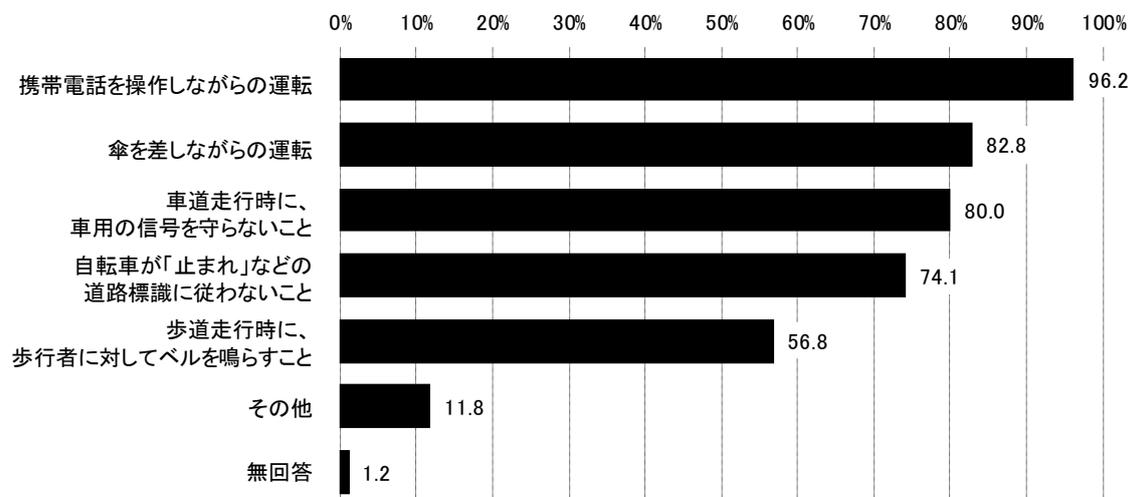
図 29 自転車の走行について



■ 正しくないと思う自転車の走行 (n=845 : 複数回答)

「あなたが正しくないと思う自転車に関する行動」について、「携帯電話を操作しながらの運転」(96.2%)、「傘を差しながらの運転」(82.8%)、「車道走行時に、車用の信号を守らないこと」(80.0%)、「自転車が『止まれ』などの道路標識に従わないこと」(74.1%)、「歩道走行時に、歩行者に対してベルを鳴らすこと」(56.8%)と続いている。

図 30 正しくないと思う自転車の走行

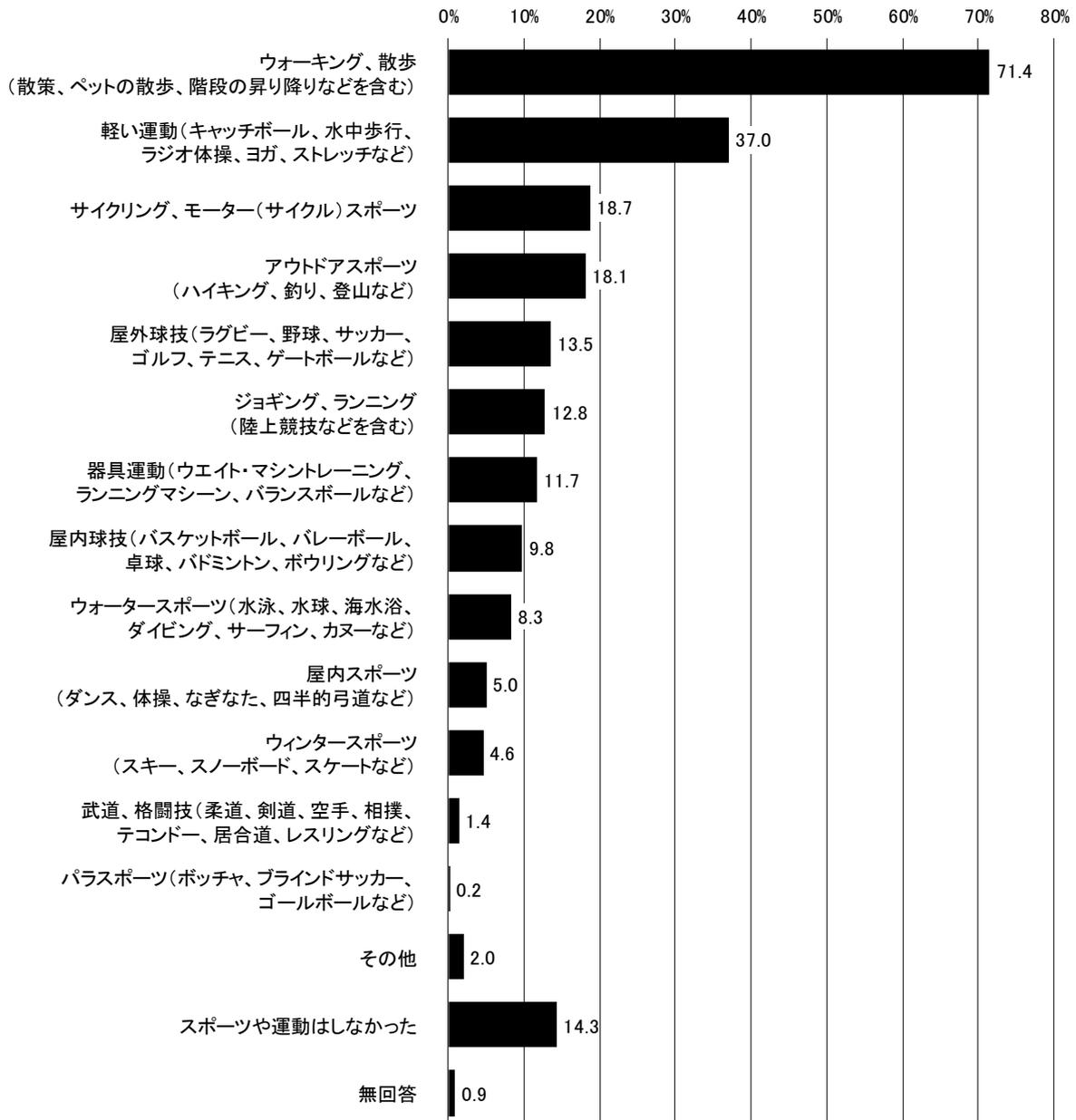


【スポーツ・運動】について

■ 1年間に行ったスポーツや運動 (n=845：複数回答)

1年間に行ったスポーツや運動について、「ウォーキング、散歩（散策、ペットの散歩、階段の昇り降りなどを含む）」（71.4%）が7割を超えて最も高い。続いて、「軽い運動（キャッチボール、水中歩行、ラジオ体操、ヨガ、ストレッチなど）」（37.0%）、「サイクリング、モーター（サイクル）スポーツ」（18.7%）、「アウトドアスポーツ（ハイキング、釣り、登山など）」（18.1%）の順になっている。

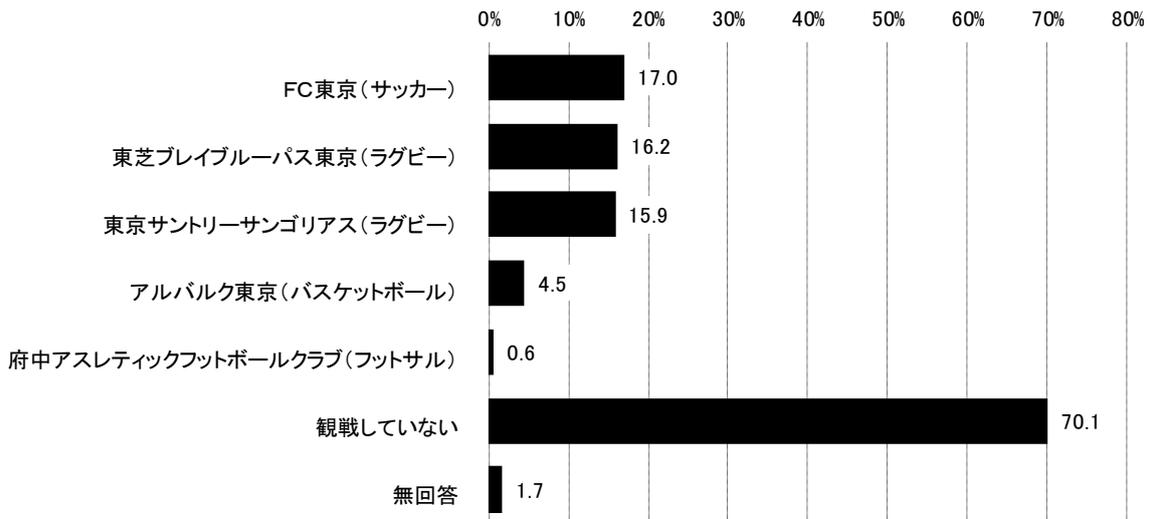
図 31 1年間に行ったスポーツや運動



■ 1年間で観戦したことがある府中市を拠点に活動するトップチームについて
(n=845：複数回答)

1年間で観戦（TVでの観戦、練習観戦も含む）したことがある府中市を拠点に活動するトップチームについて、「FC東京（サッカー）」（17.0%）が最も高く、続いて、「東芝ブレイブルーパス東京（ラグビー）」（16.2%）、「東京サントリーサンゴリアス（ラグビー）」（15.9%）、「アルバルク東京（バスケットボール）」（4.5%）、「府中アスレティックフットボールクラブ（フットサル）」（0.6%）の順になっている。

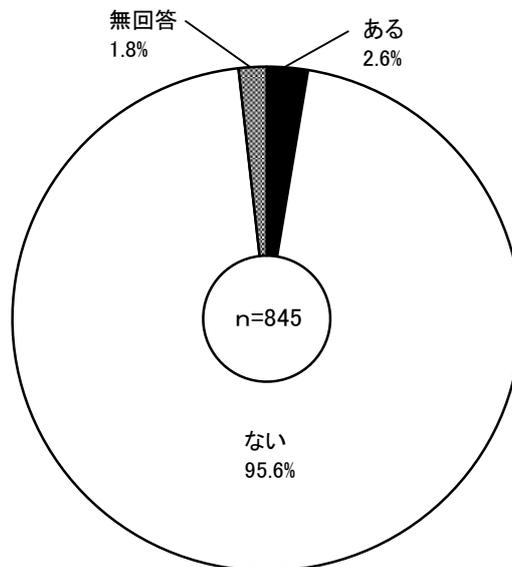
図 32 1年間で観戦したことがある府中市を拠点に活動するトップチームについて



■ 1年間で行ったスポーツに関するボランティア活動 (n=845)

「この1年間で行ったスポーツに関するボランティア活動」について、「ない」(95.6%)が9割半ばを占め、「ある」(2.6%)は1割に満たない。

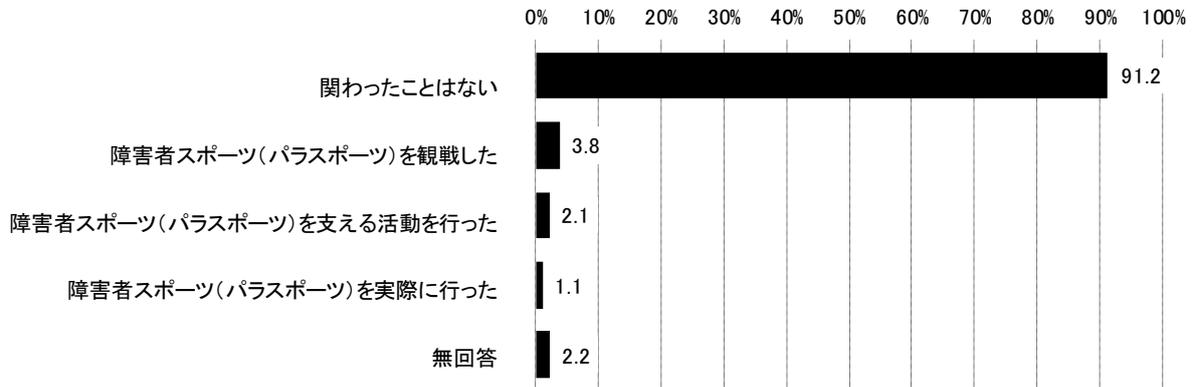
図 33 1年間で行ったスポーツに関するボランティア活動



■ 障害者スポーツ（パラスポーツ）について（n=845）

「障害者スポーツ（パラスポーツ）に関わったことはあるか」については、「関わったことはない」（91.2%）が9割を占める。「障害者スポーツ（パラスポーツ）を観戦した」（3.8%）、「障害者スポーツ（パラスポーツ）を支える活動を行った」（2.1%）、「障害者スポーツ（パラスポーツ）を実際に行った」（1.1%）は1割に満たない。

図 34 障害者スポーツ（パラスポーツ）に関わったことはあるか

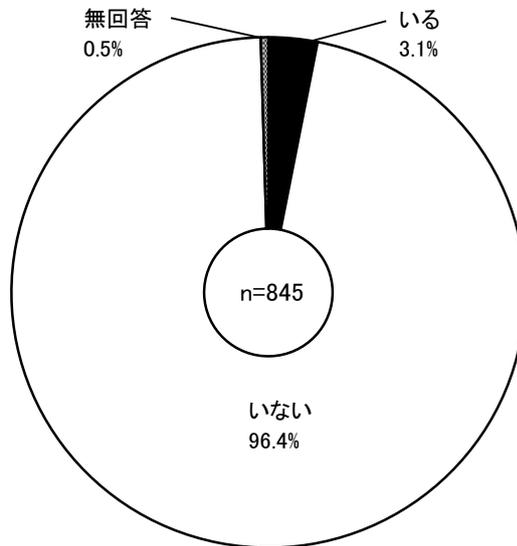


【社会とのつながり】について

■「ひきこもり」について (n=845)

「あなた自身、またはご家族の中に、『ひきこもり』の状態に当てはまる人がいるか」について、「いない」(96.4%) が9割半ばを占め、「いる」(3.1%) は1割に満たない。

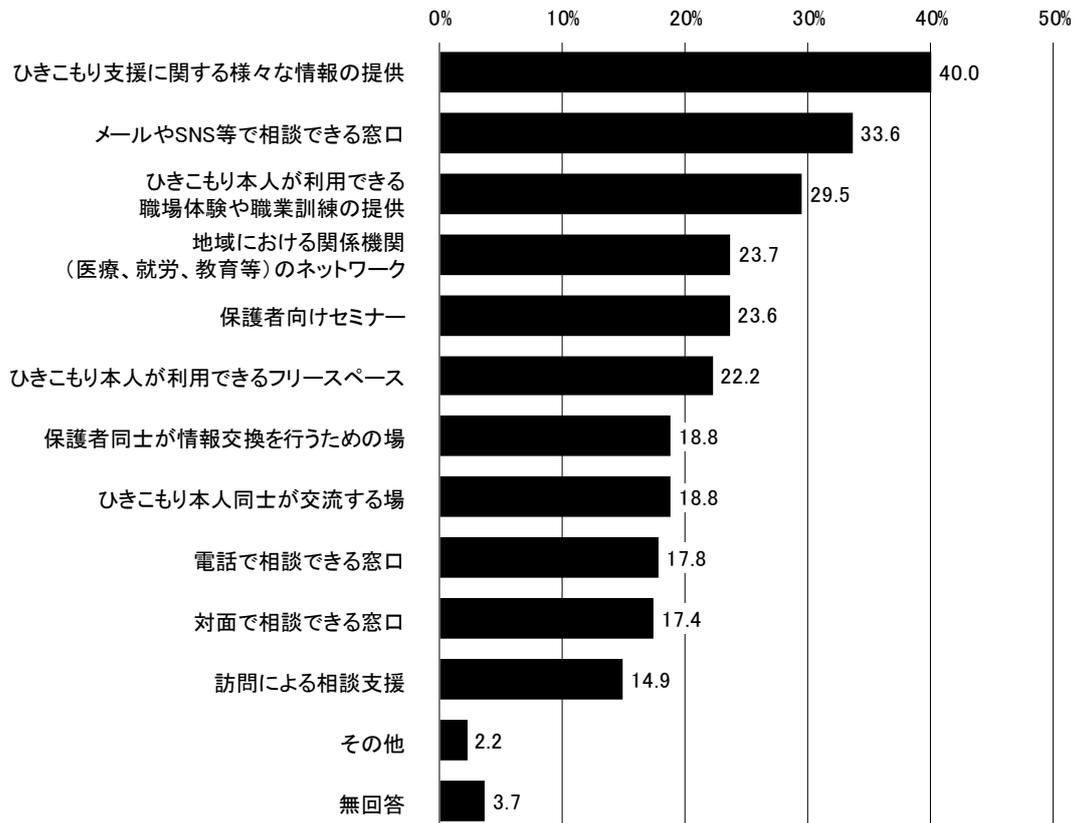
図 35 「ひきこもり」の状態に当てはまる人がいるか



■「ひきこもり」に悩む方への支援 (n=845)

「ひきこもりに悩む方への支援として、どのようなものがあると良いと思いますか」について、「ひきこもり支援に関する様々な情報の提供」(40.0%) が最も高く、続いて「メールや SNS 等で相談できる窓口」(33.6%)、「ひきこもり本人が利用できる職場体験や職業訓練の提供」(29.5%) の順に高い。

図 36 「ひきこもりに悩む方への支援として、どのようなものがあると良いと思うか

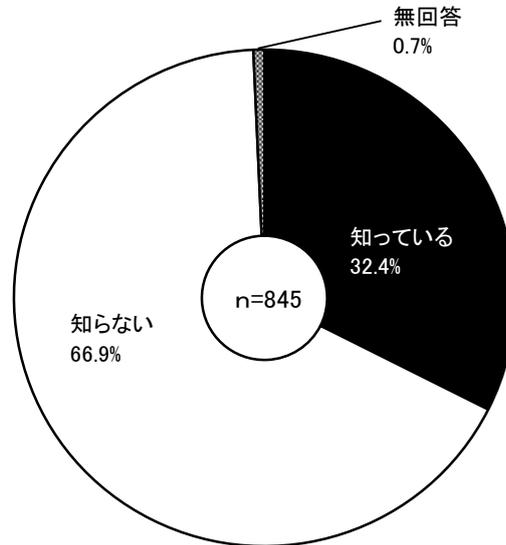


【障害者に対する差別・偏見】について

■「障害者差別解消法」の内容を知っているか（n=845）

「障害者差別解消法」の内容について、「知っている」（32.4%）が3割を超え、「知らない」（66.9%）は6割半ばとなっている。

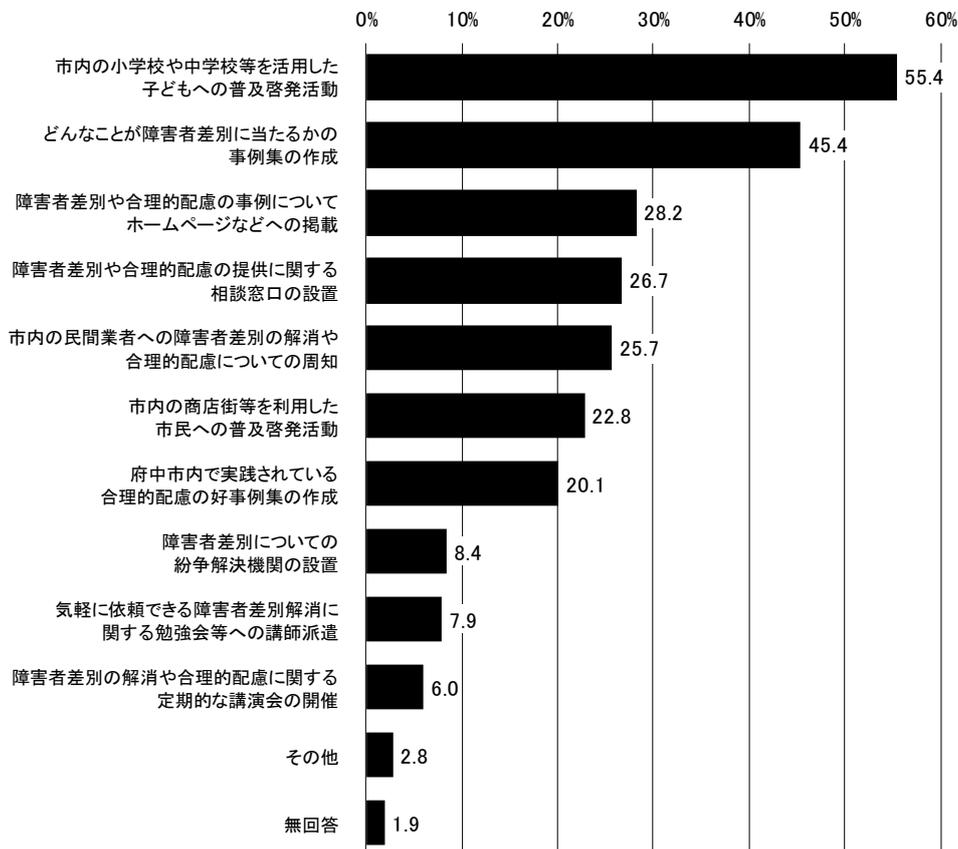
図 37 「障害者差別解消法」の内容を知っているか



■府中市障害者差別解消支援地域連絡会議に期待すること（n=845：複数回答）

府中市障害者差別解消支援地域連絡会議に期待することについて、「市内の小学校や中学校等を活用した子どもへの普及啓発活動」（55.4%）が最も高く、5割半ばを占める。

図 38 府中市障害者差別解消支援地域連絡会議に期待すること

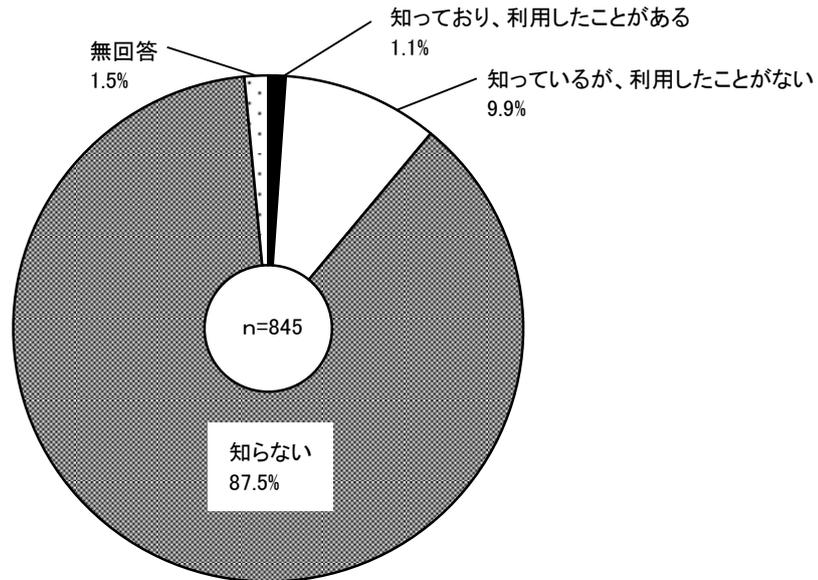


【道路の管理】について

■「コールセンター（府中市道路管理センター）」を設置していることを知っているか（n=845）

「コールセンター（府中市道路管理センター）」を設置していることについて、「知らない」（87.5%）が9割近くを占め、続いて、「知っているが、利用したことがない」（9.9%）となっている。

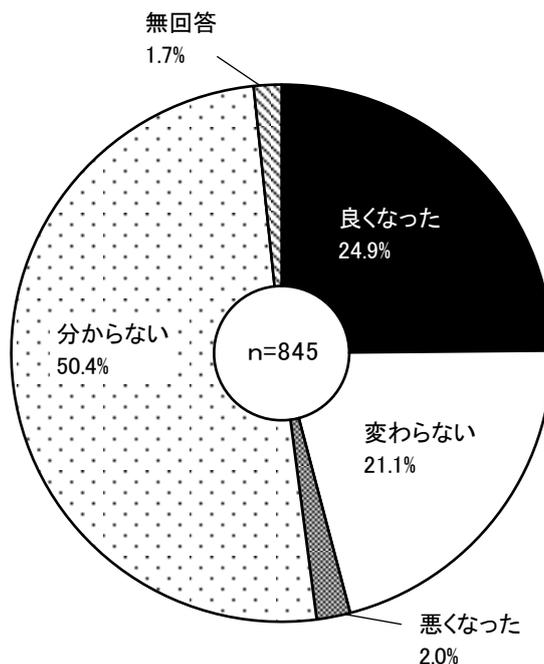
図 39 「コールセンター（府中市道路管理センター）」を設置していることを知っているか



■道路の舗装の補修や植栽の剪定などについて（n=845）

道路の舗装の補修や植栽の剪定などについて、事業開始前と現在を比較して、「分からない」（50.4%）が5割を超え最も高く、続いて、「良くなった」（24.9%）、「変わらない」（21.1%）の順になっている。

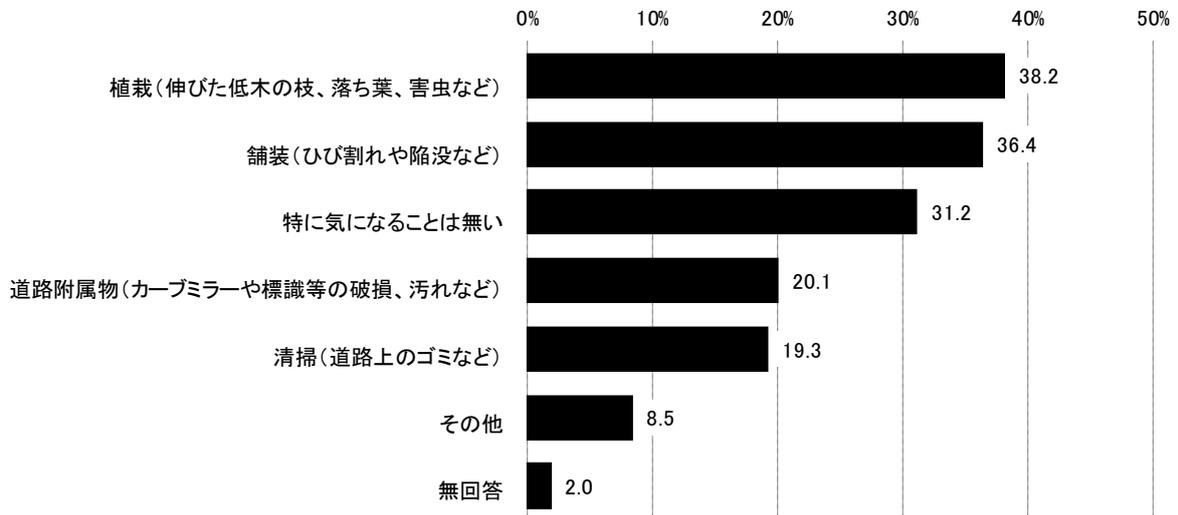
図 40 道路の舗装の補修や植栽の剪定などについて



■ 市内の道路管理で問題に感じていること (n=845)

市内の道路管理で問題に感じていることについて、「植栽（伸びた低木の枝、落ち葉、害虫など）」（38.2%）が最も高く4割近くを占める。続いて、「舗装（ひび割れや陥没など）」（36.4%）、「特に気になることは無い」（31.2%）となっている。

図 41 市内の道路管理で問題に感じていること

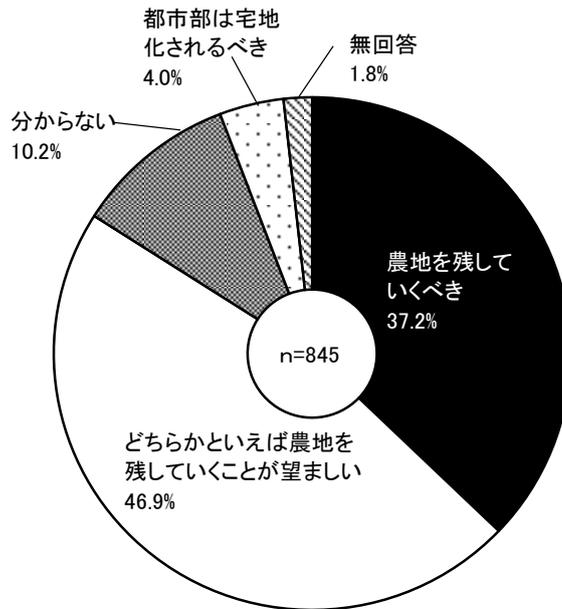


【田畑と市街地の共存】について

■ 都市農地の保全に関する考え方について (n=845)

都市農地の保全に関する考え方について、「どちらかといえば農地を残していくことが望ましい」(46.9%)が最も高く、続いて、「農地を残していくべき」(37.2%)、「分からない」(10.2%)の順になっている。

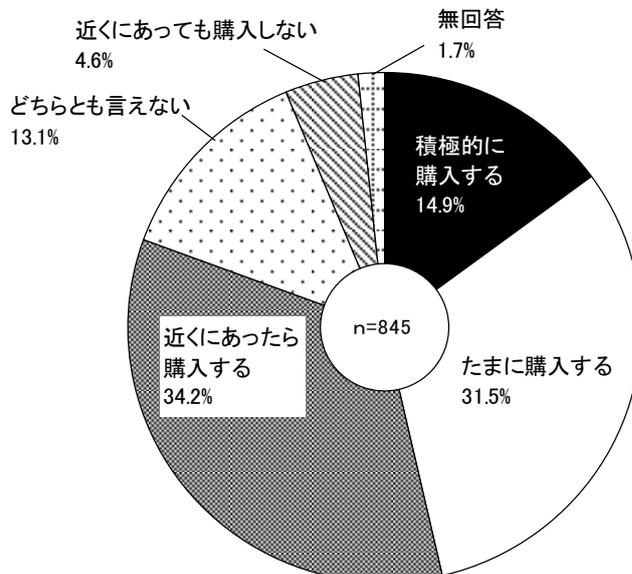
図 42 都市農地の保全に関する考え方について



■ 市内で生産された野菜等を購入することについて (n=845)

市内で生産された野菜等を購入することについて、「近くにあったら購入する」(34.2%)が3割半ばで最も高く、続いて、「たまに購入する」(31.5%)、「積極的に購入する」(14.9%)、「どちらとも言えない」(13.1%)の順になっている。

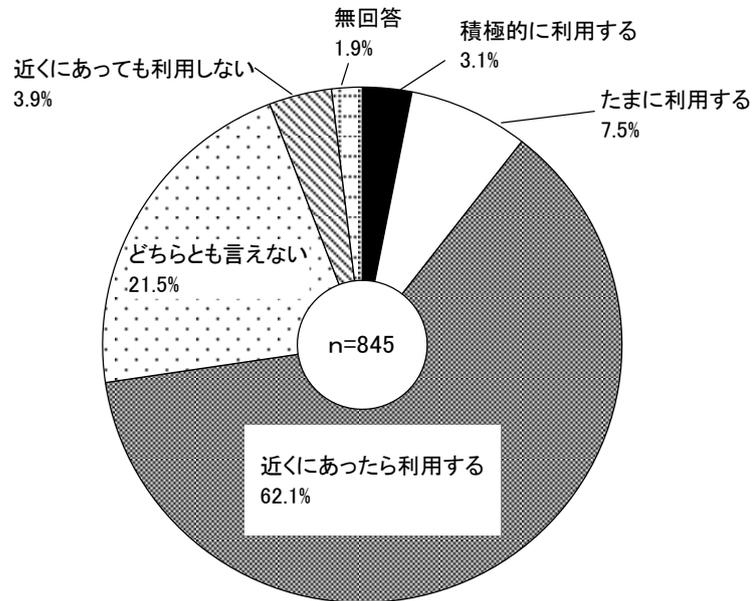
図 43 市内で生産された野菜等を購入することについて



■ 農家レストランの利用について (n=845)

農家レストランの利用について、「近くにあったら利用する」(62.1%)が6割を超え最も高く、続いて、「どちらともいえない」(21.5%)が2割を超えている。

図 44 農家レストランの利用について



第 54 回府中市市政世論調査（概要版）

令和 4 年 9 月

発行：府中市市民協働推進部広聴相談課

東京都府中市宮西町二丁目 24 番地

Tel 042-366-1711

実施：株式会社 T D S

東京都府中市晴見町二丁目 24 番地の 1

Tel 042-352-3330